

# 令和5年度 事業報告

**TCVB**  
公益財団法人 東京観光財団



# 令和5年度 事業報告

## 目次

### I 公益目的事業

#### 1 海外からの旅行者誘致に関する事業..... 5

- (1) 観光マーケティング事業
- (2) アイコン等を活用したプロモーション
- (3) 海外市場向け東京の魅力発信プロモーション
- (4) 富裕層向けプロモーション
- (5) 東京観光レップの運営
- (6) 多様なチャネルを活用した BtoB プロモーション
- (7) 東京から日本の魅力新発見
- (8) 地方連携参画型広域プロモーション
- (9) 渡航ルート多様化等を見据えた日本各地との新たな連携
- (10) 世界自然遺産を活用した観光振興
- (11) 国際スポーツ大会を契機とした観光振興
- (12) 青少年の教育旅行受入促進事業
- (13) 多様なツーリズムの推進
- (14) インバウンド需要回復に向けた観光 PR
- (15) メタバースを活用した観光 PR
- (16) 国際的なイベントを活用した観光 PR
- (17) 近隣県と連携した海外向けレガシーPR
- (18) 山形県との連携による女性の視点を活かした観光振興
- (19) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大

#### 2 コンベンション誘致に関する事業..... 9

- (1) 東京都 MICE 連携推進協議会の運営
- (2) MICE マーケティング戦略の構築
- (3) ビジネスイベント情報発信の展開
- (4) ビジネスイベントプロモーション基盤の強化
- (5) 国際会議誘致・開催支援事業
- (6) 企業系イベント誘致・開催支援事業
- (7) イベント等誘致・開催等支援事業
- (8) 島しょ地域における MICE 誘致促進事業
- (9) 多摩地域における MICE 誘致促進事業
- (10) ユニークベニューワンストップ窓口の設置
- (11) ユニークベニューの魅力発信
- (12) ユニークベニュー利用促進事業
- (13) ユニークベニュー施設の受入環境整備支援
- (14) MICE 拠点支援事業
- (15) MICE 施設の受入環境整備支援
- (16) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進
- (17) 次世代型 MICE の推進
- (18) 環境配慮型 MICE の推進
- (19) メタバースを活用した MICE 誘致促進
- (20) ビジネスイベント専門人材育成

<b>3 地域の観光振興に関する事業</b> .....	<b>18</b>
(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興	
(2) 魅力を高める観光資源の開発	
(3) 観光まちづくりの支援事業の実施	
(4) 東京フィルムコミッション事業	
(5) 東京シティガイド検定の実施	
(6) 被災地応援ツアーの実施	
<b>4 観光産業の支援に関する事業</b> .....	<b>30</b>
(1) 東京観光産業ワンストップ支援センターの運営	
(2) 観光産業の活性化	
(3) 受入環境インフラの整備	
<b>5 観光情報の発信に関する事業</b> .....	<b>33</b>
(1) ウェブサイトによる情報発信	
(2) 東京ブランドの推進事業	
(3) ウェルカムカードの作成	
(4) ムスリム及びベジタリアン向けパンフレット作成	
(5) 観光ボランティアの管理運営	
(6) 多言語メニュー作成支援サイト（EAT 東京）の運営	
(7) 国内向け誘客促進プロモーション	
(8) 東京観光デジタルパンフレットギャラリーの管理運営	
(9) 東京観光情報センター等の管理運営	
(10) 広域的な観光案内拠点等の整備及び運営支援	
(11) 「マラソン祭り」を通じた観光振興事業	
<b>6 広報・調査研究に関する事業</b> .....	<b>38</b>
(1) 財団コーポレートサイトでの情報発信	
(2) 共同研究・アドバイザリー会議の実施	
(3) 「持続可能な観光」推進事業	
<b>7 その他事業</b> .....	<b>39</b>
(1) 大阪観光局との連携	
(2) 後援	
(3) 委員会への参加	
<b>II 収益事業</b>	
<b>1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業</b> .....	<b>41</b>
<b>2 テキスト販売事業</b> .....	<b>41</b>
<b>3 物品等販売事業</b> .....	<b>41</b>
<b>III その他事業（相互扶助等事業）</b>	
<b>1 賛助会員に関する事業</b> .....	<b>41</b>
(1) TCVB ミーティングの開催	

- (2) 会員情報交換会の開催
- (3) ビジネス交流会・商談会並びに会員施設視察交流会等の開催
- (4) サステナビリティ活動の実施
- (5) TCVB 賛助会員向けニュース速報の配信
- (6) TCVB レポートでの情報発信

## I 公益目的事業

### 1 海外からの旅行者誘致に関する事業

#### (1) 観光マーケティング事業 <東京都受託事業>

訪都外国人旅行者の増加を目指して効果的に観光プロモーションを実施していくため、プロモーション対象地域において、訪都外国人旅行者誘致施策の効果を成果指標 KPI (Key Performance Indicator) を活用して測定及び分析を行った。

#### (2) アイコン等を活用したプロモーション <東京都受託事業>

企業との企画商品の開発支援、ウェブサイトや SNS などを活用したプロモーション、管理事務局の運営、PR グッズ制作他、アイコンを国内外で用いて世界の旅行者に東京の魅力を効果的に訴求し、訪都旅行者の増大を図った。

#### (3) 海外市場向け東京の魅力発信プロモーション <東京都受託・補助金事業>

海外市場に向けて「旅行地としての東京」を印象づけ、効果的に世界の旅行者に東京の魅力を訴求していくため、オンライン広告の掲出やテレビ CM の放映実施、観光レップを活用したプロモーション、世界有数の観光都市との相互 PR を行った。

##### (ア) オンライン広告

Google、YouTube などを活用したオンライン広告を掲出した。新しく制作した PR 動画「Nothing Like Tokyo」等を活用し、Tokyo Tokyo 公式サイトへ誘導等を行い東京ブランドの PR を実施した。また、各種媒体への記事広告等を出稿し、東京の新たな魅力を訴求した。

##### (イ) テレビ CM の放映等

CNN International, Euronews といった世界規模のテレビ局のネットワーク等において、訪都外国人旅行者の増大を目的に SusHi Tech Tokyo の動画、東京の PR 映像等を放映し、東京の魅力を訴求した。

##### (ウ) 世界有数の観光都市との相互 PR

世界有数の観光都市である米国ニューヨークと相互に連携し、広告媒体等を通じて両都市の魅力を一般市民向けに PR した。旅行目的地としての各都市の認知度を高め、都市間の旅行者の増加を図った。

#### (4) 富裕層向けプロモーション <東京都受託事業>

より多くの観光消費が期待できる富裕層を対象に、プロモーションを実施した。訪都旅行者数及び観光消費額の増加を目標に、富裕層に特化した旅行会社及びコンサルタント等が加盟する国際組織を活用し、富裕層市場における東京の存在感を高めるとともに、欧米豪・アジアでの商談会等への出展、富裕層向けコンテンツの整備・発信活動や関連事業者向け講座・視察等を行った。

#### (5) 東京観光レップの運営 <東京都受託事業>

北米 3 市場 (アメリカ (NYC, LAX)・カナダ)、欧州 5 市場 (イギリス、ドイツ、イタリア、スペイン、フランス)、豪州、アジア 4 市場 (中国・韓国・台湾・マレーシア (シンガポール・タイ含む)) に東京観光レップを設置し、メディア及び現地旅行事業者に対するセールス活動や情報提供等を行った。また、全レップによる海外市場セミナーや市場別相談会を開催した。(令和 5 年 5 月 29 日・30 日)

・海外市場セミナー・市場別相談会 参加者数：347 名\*

\*海外市場セミナー・市場別相談会の他、6(エ)エージェント招聘に記載の商談会と同日・同会場での実施の為、その参加者数も含む

#### (6) 多様なチャネルを活用した BtoB プロモーション <東京都受託・補助金事業>

市場の特性に応じた観光プロモーションを行うことで外国人旅行者誘致を促進した。

- (ア) オンライン商談プラットフォーム <東京都補助金事業>  
 本プラットフォームにおいて、都内観光事業者が現地事業者とのネットワーク構築を図る機会を確保するとともに、旅行先としての東京の魅力を効果的に発信した。
- (イ) 訪問営業 <東京都補助金事業>  
 都内事業者と連携して現地へ訪問し、有益な商談を実施してネットワーク強化を図る機会を確保するとともに、東京への送客を促進するために、旅行先としての東京の魅力を紹介した。  
 ・マレーシア・シンガポール（令和5年7月12日・14日）  
 ・台北・高雄（令和5年9月11日・13日）
- (ウ) 東京観光レップ主催旅行事業者向けセミナー <東京都補助金事業>  
 東京観光レップを設置している市場において、現地旅行事業者・メディア等を集め、東京の魅力や最新情報を伝えるセミナーを開催した。  
 ・セミナー実施件数：17件
- (エ) エージェント招聘 <東京都補助金事業>  
 東京観光レップ設置市場の有力な旅行事業者等を招聘し、ファムトリップを実施して訪都旅行商品の造成・販売を促進する他、商談会やセミナー、レセプション等を実施して都内事業者と海外事業者のネットワーク構築を図った。（令和5年5月28日～31日）  
 ・招聘者：計45名  
 ・商談会参加者数：347名\*\*  
 \*\* (5) に記載の海外市場セミナー・市場別相談会と同日・同会場での実施の為、その参加者数も含む
- (オ) 旅行博・商談会 <東京都補助金事業>  
 訪都旅行者を誘致するにあたり重要とみなす海外市場において、国際旅行博や商談会へ参加し、東京観光情報の提供及びPRを行うとともに、都内事業者のネットワーク機会の構築を図った。  
旅行博  
 ・オーストラリア Snow Travel Expo 2023（令和5年5月28日）  
 ・オーストラリア JNTO ロードショー（令和5年8月21日）  
 ・マレーシア MATTA Fair（令和5年9月1日～3日）  
 ・中国 国際観光産業博覧会 CITIE（令和5年9月15～17日）  
 ・フランス IFTM Top Resa（令和5年10月3日～5日）  
 ・タイ Visit Japan FIT Fair（令和5年10月6日～8日）  
 ・カナダ モントリオール旅行博（令和5年11月3日～5日）  
 ・台湾 ITF 台北国際旅行博（令和5年11月3日～6日）  
 ・イギリス World Travel Market London（令和5年11月6日～8日）  
 ・スペイン Feria Internacional de Turismo 2024（令和6年1月24日～28日）  
 ・アメリカ New York Travel & Adventure Show（令和6年1月27日～28日）  
 ・アメリカ Los Angeles Travel and Adventure Show 2024（令和6年2月3日～4日）  
 ・イタリア BIT（令和6年2月4日～6日）  
 ・カナダ バンクーバー旅行博（令和6年3月2日～3日）  
 ・ドイツ ITB Berlin（令和6年3月5日～7日）  
JNTO による現地商談会  
 ・インド（バンガロール・ムンバイ）（令和5年10月10日・12日）  
 ・インドネシア（ジャカルタ・スラバヤ）（令和5年11月14日・16日）  
 ・ベトナム（令和6年3月8日）
- (カ) 東京ニュース <東京都補助金事業>  
 メディアや旅行事業者を対象として、東京の最新ニュース等を定期的に配信した。（年間12回、各月）
- (キ) 海外メディアサポート <東京都補助金事業>  
 東京を紹介する魅力的な記事や映像配信の促進を図るため、海外メディアの取材をサポートした。

- ・サポート件数：57 件
- (ク) 民間企業とのジョイントプロモーション <東京都補助金事業>  
以下2件のプロモーションを実施し、東京の魅力をPRした。
  - ・イタリア・ミラノに商業施設を有する株式会社佐勇（TENOKA MILANO）とタイアップし、当該商業施設にてイラストレーターを起用し、東京に関連したアートイベントやミラノ市内での屋外PRを実施。
  - ・台湾・香港向けに日本情報専門サイト等を展開する株式会社ジーリーメディアグループとタイアップし、オウンドサイトに東京のコンテンツ記事を格納する特設コーナーを設置。また、台湾現地から募集選定された4名を東京に招聘し、滞在中の様子を招聘者のアカウントから投稿するPRを実施。
- (ケ) シティプロモーション <東京都受託事業>  
観光消費額が高く観光による経済波及効果の高い市場へのミッション型プロモーションをフランス・パリで実施し、旅行事業者・メディア等東京の魅力を発信した。
  - ・実施日： 令和5年11月16日
  - ・都内事業者参加社・団体数： 16 社・団体
  - ・メディア集客： 44 社
  - ・旅行会社集客： 29 社
- (7) 東京から日本の魅力新発見 <東京都負担金事業>  
東北6県・仙台市、中国・四国9県、九州7県、北陸4県及び航空・鉄道事業者等と連携し、各地域の強みを生かした東京を起点とする観光ルート等を掲載した共同ウェブサイトの運営を行った。さらに、共同招聘旅行及びメディアを活用した情報発信、海外OTAを活用したPR実施の他、オンライン商談会を行い、多様な訪日旅行の新たな魅力を海外に向けて広く発信した。
  - (ア) 東京を起点とした観光ルートの設定
  - (イ) 情報発信の実施
    - ・東京から各地を繋ぐ観光ルート等を紹介するウェブサイトの運営
    - ・広告配信するとともに、オンライン広告及び海外メディアへの記事広告、OTAと連携したPRを実施
    - ・東京と各連携先地域を紹介するパンフレット（AB版）およびデジタルパンフレットの制作
  - (ウ) 共同招聘旅行
    - (ア) で設定した、東京と各地域を結ぶ観光ルート全5コースについて、フランス、アメリカ、イギリスからインフルエンサーやメディア等、計8名の招聘を実施し、旅行記をウェブサイトに掲載。
  - (エ) オンライン商談会
    - ・米・豪市場の海外旅行会社とのオンライン商談会の実施
- (8) 地方連携参画型広域プロモーション <東京都受託事業>  
増加する個人旅行者の多様なニーズに対応し、東京と他自治体との連携による観光立国実現へ寄与するため、東京と他自治体双方への旅行者誘致と観光振興を推進する共同プロモーションを自治体等と連携して実施した。また、関東域内の各県等と協力して関東広域エリアへの海外からの来日促進のため、サステナビリティ等の観点を軸とした共同デジタルプロモーションやファムトリップ等を実施した。
  - ・連携自治体・団体等：18 府県（石川県、沖縄県、神奈川県等）ほか
- (9) 渡航ルート多様化等を見据えた日本各地との新たな連携 <東京都負担金事業>  
近年、地方空港を利用した来訪者数が増加傾向になるなど、海外からの渡航ルートが多様化する中、日本各地（新潟県、和歌山県、大阪府）と東京が相互で外国人旅行者の送客の促進や国内旅行需要の喚起につなげるため、オンラインメディアやOTAと連携した観光プロモーション等を実施し、東京と日本各地の共存共栄による観光振興につなげた。また、大阪・

関西万博を見据え東京と大阪の二大都市の魅力を比較した海外向け情報発信等により海外からの旅行者の受入機運醸成を図った。

(10) 世界自然遺産を活用した観光振興〈東京都負担金事業〉

小笠原諸島と同様、国内の世界自然遺産登録地を有する地方公共団体（北海道、青森県、秋田県、鹿児島県、沖縄県）と連携し、共同ウェブサイトの運営、動画制作、オンライン広告、有力メディアにおける情報発信、OTA を活用した PR 等を行った。

また、前述の地方公共団体と連携し、東京と日本各地への旅行者誘致促進を目的とする、シンポジウム、商談会、及び現地交流会（小笠原）を実施した。

- ・シンポジウム（東京）：令和6年1月30日（会場・オンラインのハイブリッド開催）  
＜会場＞申込者数101名、参加者68名  
＜オンライン＞申込者数253名、参加者数176名
- ・商談会（大阪）：令和5年9月7日  
セラール9団体 バイヤー14社 商談件数45件
- ・商談会（東京）：令和6年1月31日  
セラール9団体、バイヤー11社、商談件数57件
- ・現地交流会（小笠原）：令和5年11月12日～17日  
セラール9団体、バイヤー12社

(11) 国際スポーツ大会を契機とした観光振興〈東京都負担金事業〉

東京2020大会後に国内で実施された国際スポーツ大会の機会を活用し、ウェブサイト及びSNSによる東京及び東京以外の会場も含めた各地の観光情報の発信により、観戦客の東京及び日本各地への観光促進を図った。

(12) 青少年の教育旅行受入促進事業 〈東京都補助金事業〉

都内の学校関係者への学校交流受入説明会の開催をはじめ、受入窓口の運営を行い、海外青少年の教育旅行の受入を促進した。また、海外有望市場で実施された商談会等に参加し、現地教育関係者や旅行事業者へPRを行った。合わせて東京における教育旅行モデルコースを造成するほか、国内外教育旅行の受け入れに向けたPR、教育旅行を活用した都内学生の地域理解促進に向けた取組を行った。

- (ア) 受入意識調査の実施（回答数310件）
- (イ) 受入説明会の実施（オンライン・28校/団体31名参加）
- (ウ) 個別説明の実施（10件）
- (エ) 学校交流の実施・支援（16件）
- (オ) 有望市場向け相談会・意見交換会等参加
  - ① 台湾：「2023年度台湾における訪日教育旅行促進事業現地セミナー・個別相談会」参加（JNTO主催・令和5年6月12・13日 台北・高雄）
  - ② オーストラリア：「Japan Educational Tours Seminar」参加（JNTO/G. E. T. EDUCATIONAL TOURS 主催・令和5年10月9日 メルボルン）
  - ③ 台湾：「ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業」東京意見交換会参加（JNTO主催・令和5年10月17日）

(13) 多様なツーリズムの推進 〈東京都受託事業〉

東京の旅行先としての新たな魅力を訴求するため、都の施策と連携したテーマや東京の強みを訴求すべく、アート、グリーンツーリズム、アニメツーリズム、テクノロジー等テーマを設定し、Travel+Leisure、BBC、Designboom等の海外媒体等を活用し外国人旅行者の多様な関心・志向に対応したプロモーションを行った。

(14) インバウンド需要回復に向けた観光PR（一部新規）〈東京都受託事業〉

インバウンド需要の早期回復を図るため、海外都市における屋外・交通広告や、観光レップを通じた市場別PR、事業者のプロモーション等と連動した訪都促進に向けた広告キャン

ペーンを展開した。また、ターゲット市場に影響力のあるインフルエンサーを海外から招聘し、東京の魅力等をPRした。

(15) メタバースを活用した観光PR（新規事業）〈東京都受託事業〉

若年層やファミリー層を主なターゲットとして、世界中に多くのユーザーを有するメタバース空間を活用し、東京ならではの体験型ゲームコンテンツ等を提供することで、訪都意欲の向上を図る観光PRを実施した。

(16) 国際的なイベントを活用した観光PR（新規事業）〈東京都受託事業〉

インバウンドの誘客を一層促進するため、2025年の世界陸上東京大会の前回大会である2023年ブダペスト大会の機会を捉え、大会に関連する各種広告媒体を活用したPRや、BtoCプロモーションとして観光関連イベント等を実施し、観光都市としての東京の魅力を効果的に発信した。

(17) 近隣県と連携した海外向けレガシーPR（新規）〈東京都負担金事業〉

東京2020大会が開催された近隣県（埼玉県・千葉県・神奈川県・山梨県）と連携し、大会のレガシーを活用した東京と近隣県の観光ルートの設定（東京一各県及び1都4県ルートの計5本）や旅行地としての魅力を紹介する動画の制作、アメリカ、フランス、オーストラリアの海外・在京インフルエンサーやイギリスの旅行会社ら計10名の共同招へいの他、東京および近隣県の魅力を紹介するウェブサイトの設置、交通広告や海外メディアを活用した国内外の旅行者への情報発信等の海外向け観光プロモーションを実施し、訪都外国人旅行者の都内近隣エリアの周遊を促進した。

(18) 山形県との連携による女性の視点を生かした観光振興（新規）〈東京都負担金事業〉

山形県と連携し、ウェブサイトによる女性の目線を生かした両都県の観光スポットや観光情報の発信、女性誌やオンラインメディアへの記事出稿等により、東京及び山形県双方への旅行を喚起する共同プロモーションを行い、両都県の連携による相互観光を推進した。

(19) 情報の発信、共有及びネットワークの拡大

(ア) 各種セミナー・商談会等への参加

JNTO（日本政府観光局）等が実施するセミナーや商談会等へ参加し、市場動向の把握や現地でのネットワーク拡大等を図った。

(イ) 東京教育観光ガイドの販売

東京への教育旅行を計画している学校関係者及び旅行会社等向けに、施設情報やものづくり体験等の情報を集めた包括的ガイドブックである東京教育観光ガイドを販売した。

## 2 コンベンション誘致に関する事業

### 東京開催コンベンションの実績

- (1) 国内基準（「2022年国際会議統計」日本政府観光局（JNTO）データ）  
会議開催件数 136件（国内都市別順位 1位）
- (2) 国際基準（「国際会議協会（ICCA）統計2022」）  
会議開催件数 39件（国際都市別順位 41位）

(1) 東京都MICE連携推進協議会の運営 〈東京都補助金事業〉

(ア) 東京都MICE連携推進協議会の設置

財団が主体となり、国や関連事業者等の様々な関係主体と連携を図り、より効果的にビジネスイベントを誘致・開催するため、MICE連携推進協議会並びに拠点、サステナビリティ、魅力発信及び次世代型MICEの各部会を実施した（計10回）。

(イ) MICEシンポジウムの開催

MICE 関連事業者や都民にビジネスイベント誘致・開催の意義や重要性等の普及啓発を図るシンポジウムを開催した。

- ・ 令和 5 年度東京都 MICE シンポジウム(第 1 回)

開催日：令和 5 年 12 月 12 日

会場：東京国立博物館 平成館大講堂

テーマ：MICE における D&I とユニークベニユーを考える

参加者：113 名

- ・ 令和 5 年度東京都 MICE シンポジウム(第 2 回)

開催日：令和 6 年 2 月 7 日

会場：サントリーホール ブルーローズ

テーマ：サステナビリティ × MICE～次世代に向けた取組～

参加者：115 名

## (2) MICE マーケティング戦略の構築 <東京都受託事業>

### (ア) 東京都 MICE 誘致戦略に基づく調査

今後の戦略的な施策展開に向け、国内外の MICE 誘致につながるサステナビリティ、地域連携に関する取組等を把握するための調査を実施した。

### (イ) 事業効果測定及び施策等の検証

企業系イベント、国際会議及び展示会・イベントの具体的施策の効果を測定し、より効果的な誘致活動の実施につなげると共に、日本政府観光局（JNTO）等が公表する国際会議データとして提供するため、都内で開催された国際会議について、会議名や主催者名、参加者数等の調査を実施した。

## (3) ビジネスイベント情報発信の展開（一部新規） <一部東京都補助金事業>

### (ア) ビジネスイベント開催情報発信

国内外の主催者・プランナーに対して、東京でのビジネスイベント開催に必要な情報や東京の都市の魅力に関する最新情報を提供するため、ウェブサイトの一部改訂を行い、施設情報やビジネスイベント開催情報等の更新を行った。

また、海外のプランナーやプレスに対して、「Business Events Tokyo Newsletter」を年間 4 回配信するとともに、プレスリリースを行った。

### (イ) 広告掲載による PR 強化 <東京都補助金事業>

#### ① 企業系ビジネスイベント

ビジネスイベントの専門誌が運営するウェブサイト等に、東京の魅力を PR するバナー広告等を掲載し、東京へのビジネスイベント誘致を促進した。

- ・ TTG mice 年 3 回（バナー広告）
- ・ MIX Magazine 年 3 回（バナー広告）
- ・ BEAM 年 3 回（バナー広告）

#### ② 国際会議

国内外の学術研究誌等を活用し、国際会議誘致・開催関連事業の周知、都内ユニークベニユーの魅力や開催事例の紹介を目的とした広告掲載を行った。

- ・ 日経メディカル 年 3 回（バナー広告）
- ・ 経団連タイムス 年 6 回（紙面広告）
- ・ 学術の動向 年 4 回（紙面広告）

また、規模の大きな国際会議の開催について、海外ビジネスイベント専門誌に紹介記事を掲載し、東京の最新の支援内容や国際会議開催都市としての魅力を PR することを目的に、記事広告の出稿を行った。

- ・ 国内： Reuters.com（オンライン媒体）  
日本の研究.com（オンライン媒体）
- ・ 海外： AMI（オンライン媒体）  
TTG mice（オンライン媒体）

#### ③ ユニークベニユー

都内のユニークベニュー施設とその利活用を取り上げた記事広告等を以下の媒体に掲出した。

- ・ 国内： 日経ビジネス 年1回（記事広告）  
日経ビジネスオンライン 年1回（記事広告）
- ・ 海外： Northstar Meeting 年1回（記事広告）  
TTGmice 年1回（記事広告）  
CIM 年1回（記事広告）  
Google Ads, LinkedIn 等を活用したオンラインバナー広告 4ヵ月程度

(ウ) ファムトリップ <東京都補助金事業>

主催者に対し開催候補地のリストアップや開催地決定に関する提案等を行う立場にあるミーティングプランナーに対し、開催都市としての東京の魅力や支援内容を効果的にPRし、東京でのビジネスイベント誘致の促進を図った。ファムトリップには、海外メディアも招聘し、記事広告を海外ビジネスイベント専門誌に掲載した。

- ・ A コース  
実施期間：令和5年9月4日～8日  
参加者：ミーティングプランナー9名、ライター1名  
海外専門誌：TTGmice
- ・ B コース  
実施期間：令和5年9月11日～15日  
参加者：ミーティングプランナー11名、ライター1名  
海外専門誌：MIXmeetings

(エ) 海外ミーティングプランナーとのネットワーク構築 <東京都補助金事業>

海外ミーティングプランナー等と連携体制を構築することで、現地における誘致案件や優良顧客情報等を収集するとともに、現地での東京のPR強化に努めた。また、現地ミーティングプランナーと都内事業者のネットワーク構築及び情報交換の場としてクライアントイベントを開催し、東京でのビジネスイベント開催を促した。

- ・ ラスベガス  
開催日：令和5年10月17日  
会場：フォーシーズンズ ラスベガス  
参加者：ミーティングプランナー21名、都内事業者23名
- ・ バルセロナ  
開催日：令和5年11月29日  
会場：ノブホテル バルセロナ  
参加者：ミーティングプランナー24名、都内事業者20名
- ・ ジャカルタ  
開催日：令和6年1月24日  
会場：プルマン ジャカルタ セントラルパーク  
参加者：ミーティングプランナー30名、都内事業者16名

(オ) 海外拠点による国際会議主催者とのネットワーク構築（新規） <東京都補助金事業>

国際団体本部が多く所在する北米と欧州にセールス機能を持つ事業者を選定し、国際団体本部に対し、直接的かつ継続的な情報収集を行うと共にセールス活動を実施した。また、国際会議都市東京のPRや誘致活動の一環として、国際団体本部やコアPCOを招待し、プロモーションや商談等を行うビジネスマッチングイベントを開催した。

- ・ ワシントンD.C.  
開催日：令和5年12月7日  
会場：在アメリカ合衆国日本大使館 旧公邸  
参加者：国際団体本部担当者等20名
- ・ ロンドン  
開催日：令和6年1月25日  
会場：ジャパンハウス ロンドン  
参加者：国際団体本部担当者等14名

(カ) 効果的なプロモーションのためのツール整備 <東京都補助金事業>

都が指定するビジネスイベント先進エリア及び重点支援エリアの認知度向上を図るため、各エリアをPRするウェブサイトの更新及びウェブサイトへの案内広告の配信を行った。また、オンライン誘致ツール（バーチャルサイトビジット）の運営保守・更新を行った。

(キ) 海外トレードショーへの出展 <東京都補助金事業>

官民連携による「ALL TOKYO」でのプロモーションを展開するため、北米の IMEX America、欧州の ibtm world、アジアパシフィックの AIME に都内ビジネスイベント関連事業者と共同出展を行った。

- ・ IMEX America

会期：令和5年10月17日～19日

会場：ラスベガス・Mandalay Bay

- ・ ibtm world

会期：令和5年11月28日～11月30日

会場：バルセロナ・Fira Barcelona Gran Via

- ・ AIME

会期：令和6年2月19日～21日

会場：メルボルン・Melbourne Convention and Exhibition Centre

(ク) SNS の運用 <東京都補助金事業>

SNS を活用し、ビジネスイベント主催者・関連事業者等へ継続的な情報発信を実施した。

(4) ビジネスイベントプロモーション基盤の強化 <東京都補助金事業>

海外諸都市との熾烈な国際競争を勝ち抜くため、海外先進都市で組織される国際的アライアンス「ベストシティーズ・グローバルアライアンス」に東京として加盟し、各種情報収集を行い、ビジネスイベントの開催地としての東京のプロモーションに役立てた。

また、その他ビジネスイベント関連団体等の総会や研修会に2名の職員を派遣し、海外のビジネスイベント関連団体との接点の増加を図り、情報収集や誘致活動につなげた。

加えて、一定の条件を満たす人材を海外の国際機関・企業等へ2名の職員を派遣し、ビジネスイベント誘致・開催に係るノウハウ習得、国際競争の最前線を経験させるとともに新たな関係性を構築した。

(5) 国際会議誘致・開催支援事業（一部拡充） <一部東京都受託・出捐金事業>

(ア) 国際会議誘致支援

① 誘致マーケティング及びプロモーション活動

- ・ 開催意向調査の実施

国内の学会・協会事務局及び東京近郊の大学キーパーソン4,728人に対し、開催意向調査を実施した。

- ・ 会議主催者への誘致活動

開催の可能性のある国際会議の国内学協会等に対し、国際会議開催に必要な情報（会議施設、宿泊施設、アフターコンベンション情報、支援策等）を積極的に提供し、東京への誘致に努めた。

- ・ 国内見本市への出展

観光庁、日本政府観光局（JNTO）、日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）が主催する第33回国際ミーティングエキスポ（IME2024）に出展し、商談を行った。

- ・ 国内都市選定時の誘致活動

国内都市選定の際に、「国際会議都市・東京」の優位性をアピールするプロポーザルの作成やプレゼンテーションを実施した。

② 誘致プロモーション活動

- ・ 海外会議主催者等の視察支援

会議主催者等の海外のキーパーソンを国内主催者が招聘する際などに、都内会議施設の視察、関連事業者の紹介、観光スポットの紹介、財団の支援策の案内等を通じて支援し、東京でのビジネスイベント開催を促進した。

・ 開催都市決定への支援活動

東京開催の意義が大きい国際会議等については、ビッドペーパー（立候補書類）や誘致ツール等の作成支援のほか、開催地決定権限のある委員への直接セールスや海外での総会等における東京のアピールを行い、東京での開催決定を促進した。

(イ) 国際会議開催支援 <一部東京都受託事業>

① 参加促進への支援活動 <東京都受託事業>

東京開催が決定した大型国際会議の前回大会において、東京ブースを設置し、開催地としての東京の情報提供や東京の魅力をアピールすることで海外関係者の東京開催時の参加促進を図った。

・ 2023 International Congress of Actuaries

会期：令和5年5月28日～6月1日

場所：オーストラリア・シドニー

・ World Physiotherapy Congress 2023

会期：令和5年6月2日～4日

場所：アラブ首長国連邦・ドバイ

・ World Congress of International Federation of Fertility Societies 2023

会期：令和5年9月10日～13日

場所：ギリシャ・アテネ

・ SIGGRAPH Asia 2023

会期：令和5年12月12日～15日

場所：オーストラリア・シドニー

② 開催運営への支援活動

東京開催が決定した国際会議に、宣伝ツールの提供、観光や日本文化体験プログラム等に関する情報提供等を行い、主催者支援を行った。

③ 国際会議開催支援プログラム <東京都受託事業>

東京で開催される国際会議の中で一定の要件を満たすものに対し、開催時に都内観光ツアーや日本文化体験プログラム等、参加者が東京の魅力やホスピタリティを体験できるような支援プログラムを実施した。

・ 28th International Conference on Statistical Physics (STATPHYS28)

会期：令和5年8月7日～11日

・ IFToMM World Congress 2023

会期：令和5年11月5日～9日

④ 観光ボランティアを対象とした国際会議向けの研修 <東京都受託事業>

観光ボランティアに対し、国際会議の海外参加者を案内するために必要な知識やマナー等の事前研修を実施した。また、東京で開催された以下の国際会議において、主催者の負担軽減を目的として英語対応可能な観光ボランティアをスタッフとして派遣した。

・ 28th International Conference on Statistical Physics (STATPHYS28)

会期：令和5年8月7日～11日

・ 10th International Congress on Industrial and Applied Mathematics (ICIAM 2023 Tokyo)

会期：令和5年8月20日～25日

・ PRI (Principles for Responsible Investment) in Person 2023 Tokyo

会期：令和5年10月3日～5日

(ウ) 国際会議誘致・開催資金助成等事業（一部拡充） <東京都出捐金事業>

① 国際会議誘致支援

東京都への国際会議の誘致を予定する7団体に対し、誘致活動経費の一部を助成する誘致助成金の交付を決定した。

② 国際会議誘致・開催支援

国際会議開催助成の交付対象会議として、22 件の国際会議が登録され、18 件の開催地が東京に決定した。

<誘致決定会議>

- ・ The 11th International Conference on Surface Plasmon Photonics (SPP11) (約 600 名)
- ・ 第 45 回海洋工学及び極地工学に関する国際会議 (OMAE2026) (約 1,200 名)
- ・ 第 22 回アジア太平洋小売業者大会 (約 4,000 名) 等

(6) 企業系イベント<sup>注)</sup> 誘致・開催支援事業 (一部拡充) <一部東京都受託・補助金事業>

(ア) 海外商談会への参加

商談会等に参加し、東京のビジネスイベントに関する最新情報や企業系ビジネスイベント開催のための支援等について情報提供を行った。

- ・ VISIT JAPAN トラベル&MICE マート

実施日：令和 5 年 9 月 26～28 日

(イ) 企業系イベント誘致支援事業 <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している 4 件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、視察時の渡航費や滞在費を補助するとともに、視察団のニーズを踏まえた視察コースの設定や都内サプライヤーの紹介などを行った。

- ・ 保険会社インセンティブツアー (令和 6 年 4 月、1,300 名予定・中国)
- ・ 通信会社インセンティブツアー (令和 6 年 6 月、720 名予定・ベトナム) 等

(ウ) 企業系イベント開催支援事業 (一部拡充) <東京都補助金事業>

東京での開催を検討している 62 件の企業系ビジネスイベント主催者に対し、ギブアウェイやパーティーへのアトラクション派遣、空港での出迎え等の支援を実施した。

- ・ 小売業者インセンティブツアー (1,639 名・台湾)
- ・ 保険会社インセンティブツアー (1,662 名・タイ) 等

(エ) 企業系イベント開催支援メニュー開発 <東京都受託事業>

海外のミーティングプランナー等と連携し、海外競合都市や国内他都市との差別化を意識した東京ならではの特別感のあるメニューを開発した。また、開発したプログラムの紹介をするための動画を撮影し、PR ツールとして活用した。

<sup>注)</sup> 企業系イベントとは、企業系会議及び報奨旅行等の総称。

(7) イベント等誘致・開催等支援事業 (新規) <東京都受託・出捐金・補助金事業>

(ア) 展示会における海外参加促進支援 <東京都補助金事業>

東京で開催される展示会の国際化を促進するため、展示会の主催者に対して、当該展示会の海外への PR やバイヤー誘致、開催時の通訳手配等に係る経費を助成した。

- ・ 2023 国際ロボット展
- ・ 東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2024

(イ) イベント等開催支援プログラム

- ① イベント等誘致支援事業 <東京都出捐金事業>  
申請なし
- ② イベント等開催支援事業 <東京都受託事業>  
申請なし

(8) 島しょ地域における MICE 誘致促進事業 (一部新規) <東京都受託・出捐金・補助金事業>

(ア) 島しょ地域における MICE 誘致・開催資金助成等事業 <東京都出捐金事業>

① MICE 誘致支援

島しょ地域が開催候補地となっている MICE 主催者等に対して誘致活動に要する経費の一部を助成する。

申請なし

② MICE 開催支援

MICE の誘致決定を目指す主催者等に対して、会場借上、機材手配等の開催に要する経費を助成した。また、会議参加者を対象とした観光ツアーやテクニカルツアー、文化プログラムの提供を行った。

・ World Flower Carpet 2023

・ International Symposium on Community-centric Systems and Robots 2024 (CcSR)

(イ) 島しょ地域における MICE 開催に向けたプロモーション <東京都補助金事業>

MICE 主催者やミーティングプランナー等に対し、島しょ地域での MICE 開催を促進するため、MICE 関連事業者と連携して国内都市を訪問するロードショーや、ファムトリップなどのプロモーション活動を実施した。

① オンラインプレゼンテーション：1 回

② ロードショー：八丈島の MICE 関連事業者が参加 訪問都市：名古屋、大阪

③ ファムトリップ：令和 6 年 1 月 15 日～17 日 八丈島にて実施

(ウ) 「島しょ地域への MICE 誘致のモデル地区」への支援（新規）<東京都受託事業>

島しょ地域で会議施設や宿泊施設が比較的充実している八丈島の観光協会をはじめとした地元関係者などによる受入体制構築に向けた支援を実施した。

(9) 多摩地域における MICE 誘致促進事業（新規）<東京都出捐金事業>

多摩地域での MICE 開催を予定する主催者に対して、国際空港から MICE 開催地域への参加者の輸送費用等を助成した。

・ 第十回世界健身気功交流試合大会及び第六回世界健身気功科学フォーラム

・ 21st International Symposium on Applied Electromagnetics and Mechanics (ISEM 2023)

(10) ユニークベニューワンストップ窓口の設置 <東京都受託事業>

(ア) ユニークベニューワンストップ総合支援窓口への問い合わせ対応業務

ユニークベニュー（特別感のあるパーティー会場等）利用希望者に対し、豊かな知見に基づくコンサルティングによって適切な施設の紹介、特別感を演出できるイベントの企画提案、利用施設との調整等を行うワンストップ総合支援窓口を設置・運営し、利用者と施設のマッチングを推進した。

(イ) ワンストップ総合支援窓口と施設間の連携体制構築

ワンストップ総合支援窓口と施設、または施設間が連携してユニークベニュー事業を推進していくため、情報共有や意見交換、事業への理解促進に向けた機会を 2 回提供した。

(11) ユニークベニューの魅力発信 <東京都受託・補助金事業>

(ア) 東京ユニークベニューショーケースイベントの実施 <東京都補助金事業>

都内ユニークベニューの魅力や活用方法、課題への対応方法等を幅広く発信・訴求するため、多様な活用方法を提案できるショーケースイベントを実施した。

実施日：令和 6 年 2 月 15 日

会場：国技館及びすみだ水族館

(イ) ユニークベニュー専用ウェブサイトの管理・運営 <東京都受託事業>

国内外のビジネスイベント主催者や DMC 等に向けたユニークベニュー専用ウェブサイトの情報更新に加え、検索機能の拡充や活用方針提示のための図面・写真を整備するなど、都内ユニークベニューのさらなる利便性の向上と利用促進を図った。

(12) ユニークベニュー利用促進事業 <東京都補助金事業>

ユニークベニューについて、利用者の負担軽減を図り、海外都市との誘致競争を有利に進めるため、ユニークベニューを利用したイベントやレセプション等を行う主催者に対して会場設営支援を行った。

・ DMO 東京丸の内 DAY（設立 5 周年記念レセプション）

実施日：令和 5 年 10 月 25 日

会場：科学技術館

- ・ SAKAZUKI PRE-LAUNCH PARTY  
実施日：令和5年11月7日  
会場：寺田倉庫 B&C ホール
- ・ SEVESKIG / (un)decided AW2024-25 RUNWAY SHOW  
実施日：2024年2月7日  
会場：GARDEN 新木場 Factory

(13) ユニークベニュー施設の受入環境整備支援 <東京都出捐金事業>  
申請なし

(14) MICE 拠点支援事業（一部新規） <東京都出捐金事業>

(ア) 東京ビジネスイベント先進エリア・多摩ビジネスイベント重点支援エリア支援事業

東京都が選定した東京ビジネスイベント先進エリア及び多摩ビジネスイベント重点支援エリアの受入体制を向上させるため、国際会議主催者等のニーズを踏まえた助言、提案等の支援を行った。

- ① 大手町・丸の内・有楽町エリア
- ② 六本木・赤坂・麻布エリア
- ③ 臨海副都心エリア
- ④ 日本橋・八重洲エリア
- ⑤ 品川・田町・芝・高輪・白金・港南エリア
- ⑥ 八王子エリア
- ⑦ 立川エリア
- ⑧ 浜松町・竹芝・芝浦エリア
- ⑨ 渋谷エリア

(イ) 都内 MICE 拠点を活用したブレッジャー需要への対応

都内 MICE 拠点の拠点間または拠点と全国他都市との連携を後押しすることで、MICE 参加者のブレッジャー需要を捉え、MICE の開催効果を全国へ波及させることを目的として、支援を行った。

- ・ 大手町・丸の内・有楽町エリア

(ウ) 都内 MICE 拠点を活用した地域活性化支援（新規）

地域との密なネットワークを持つ、東京ビジネスイベント先進エリア、多摩ビジネスイベント重点支援エリアに対し、地域住民参加等に向けた取り組みへの段階的な支援を実施することを目的として、1 件の申請を受け付けた。

(15) MICE 施設の受入環境整備支援（一部新規） <東京都出捐金事業>

都内 2 施設に対し、防犯監視カメラ設備やデジタルサイネージの更新に係る経費に対して助成することにより、MICE の更なる受入体制強化を図った。

(16) 都市間連携によるビジネスイベント誘致の推進 <東京都補助金事業>

ビジネスイベントの誘致に向けて、7 都市と連携して共同でプロモーション活動を行った。

(ア) 企業系イベント主催者向け

効果的に主催者等へのセールスを行うため、共同ファムトリップや合同での海外訪問など、誘致に向けたプロモーションを実施した。

<共同ファムトリップ>

- ・ 連携都市：沖縄県  
実施日：令和6年1月21日～27日  
参加者：ミーティングプランナー5名

- ・ 連携都市：福島県  
実施日：令和6年1月22日～26日  
参加者：ミーティングプランナー2名

<合同での海外訪問>

- ・連携都市：愛知県・名古屋市  
開催日：令和5年10月17日  
会場：フォーシーズンズ ラスベガス  
参加者：ミーティングプランナー21名
- ・連携都市：沖縄県  
開催日：令和5年11月29日  
会場：ノブホテル バルセロナ  
参加者：ミーティングプランナー24名

(イ) 国際会議主催者向け

国内の7都市と協力し、連携都市のモデルコース等を紹介するウェブサイト「About Tokyo」を運営した。

- ・令和5年度連携都市：札幌市、石川県、京都市、福岡市、愛知県・名古屋市、沖縄県、福島県

(17) 次世代型 MICE の推進 <東京都受託・出捐金事業>

(ア) MICE 主催者向けガイドラインの更新<東京都受託事業>

主催者向けガイドラインの活用状況についての調査や、掲載テクノロジーの追加等の更新を行った。また、国技館及びすみだ水族館でのユニークベニューショーケースイベントにて実証実験を実施した。

(イ) 次世代型 MICE 開催支援 <東京都出捐金事業>

東京での MICE 開催を予定する主催者に対し、先端テクノロジーを活用して実施する運営経費等の一部を助成するため、2件の申請を受け付けた。

(ウ) ハイブリッド型会議等開催支援 <東京都出捐金事業>

東京で MICE を開催する主催者に対し、一部オンライン化に要する経費を助成するため、8件の申請を受け付けた。

(18) 環境配慮型 MICE の推進（新規）<東京都受託・出捐金事業>

(ア) サステナブル MICE サポートデスクの運営 <東京都受託事業>

環境配慮に関する取組み等に精通した専門家を選任し、東京で MICE を開催する主催者 12 団体・企業に対し、環境配慮等の取組について助言を行い、サステナブルな MICE 開催を促進した。

(イ) 環境配慮型 MICE 開催支援 <東京都出捐金事業>

東京で MICE を開催する主催者に対し、環境に配慮した取組に要する経費の一部を助成するため、7件の申請を受け付けた。

(19) メタバースを活用した MICE 誘致促進（新規）<東京都受託事業>

東京への MICE 誘致を優位に展開するため、メタバース空間を活用したバーチャル会議場を構築し、MICE 開催時に主催者・参加者が利用できるようにするとともに、開催都市である東京の魅力を効果的に発信した。

(20) ビジネスイベント専門人材育成（一部新規）<東京都負担金事業>

(ア) ビジネスイベント専門人材育成講座（基礎）の実施

ビジネスイベントのグローバルスタンダードを身に付けた人材を育成するため、入門編としての MICE 概論の他、経験豊かな講師による国際会議・企業系イベントや展示会・イベント、テクノロジー、サステナビリティの講座をオンラインで実施した（無料）。

- ・ MICE 概論（全3回） 令和5年8月31日
- ・ 国際会議（全3回） 令和5年9月4日
- ・ 企業系会議・報奨旅行（全3回） 令和5年9月5日
- ・ 展示会 令和5年9月6日
- ・ イベント 令和5年9月6日
- ・ テクノロジー（全3回） 令和5年9月11日

・サステナビリティ（全3回） 令和5年9月12日

受講者数計：431名

(イ) ビジネスイベント専門人材育成講座（実践）の実施

国際会議及び企業系イベントの2分野を対象に、ビジネスイベントの専門人材育成にノウハウを持つ国際団体と連携して海外講師を招聘し、座学講義に加え、ワークショップやディスカッション等を盛り込んだ人材育成講座を実施した（有料）。

・企業系会議・報奨旅行 令和6年1月22日～23日

・国際会議 令和6年2月5日～6日

受講者数計：34名

(ウ) ビジネスイベントプロフェッショナル人材育成

ビジネスイベント関連事業者に対し、国際団体等が実施する海外の育成プログラム等を体験させることにより世界に通用する人材を育成した。

・World Education Congress (WEC) 2023 1名

・ICCA Congress 2023 1名

・The 54<sup>th</sup> IAPCO Annual Meeting and General Assembly 1名

(エ) 国際会議主催者向け会議誘致に係る東京都ビジネスイベント施策の普及啓発

大学教授等を対象として、国際会議誘致のための東京都のビジネスイベント施策を紹介するパンフレットにより広く情報提供をした。

(オ) 大学教授への国際会議誘致に係る施策の普及啓発（新規）

全国より35,000人以上の医師の参加が見込まれる第31回日本医学会総会が東京で開催される機会を捉え、国際会議主催者になり得る会議参加者を対象に、ブース等の出展を通じて国際会議の誘致・開催に必要な知識、ノウハウ等を提供するとともに、財団の各種支援策の普及啓発を図った。

### 3 地域の観光振興に関する事業

(1) 観光団体・民間事業者等との連携による地域振興（一部新規） <東京都受託・負担金・補助金事業>

(ア) 「地域支援窓口」の運営

地域（区部、多摩、島しょ）の実情等を勘案しながら、区市町村、観光関連団体、民間事業者、大学等が行う地域の観光振興を総合的に支援する窓口担当を設置し、各種支援策の活用を含めた総合的な提案やサポートを実施した。

・観光協会との調整回数 240件

・様々な団体ネットワーク構築・情報交換 46件

(イ) 地域振興助成 <東京都補助金事業>

都内観光協会等が旅行者誘致の視点で企画するイベントなどの観光振興事業に対して、4件の助成を行った。

	申請団体	事業名
1	青梅商工会議所	青梅市・奥多摩 もみじ協定広報事業
2	めぐろ観光まちづくり協会	目黒観光大百科ダイジェスト版の改訂
3	奥多摩観光協会	「缶バッチで広める奥多摩の魅力 ～奥多摩観光協会・奥多摩中学校 共同企画～」
4	青梅市観光協会	青梅市観光パンフレット作成事業

(ウ) 東京トラベルマートの開催

特産品・名産品を通じた各地域の魅力発信、イメージ向上を目的として、観光関連団体と小売事業者等による商談会「都内観光協会の特産品・名産品マッチング交流会」を開催した。

開催日：令和6年2月14日

会場：東京観光財団外部会議室

参加観光協会：7団体

参加小売事業者：8社

(エ) 観光関連団体・大学等との連携

区市町村が設置する各種委員会等への積極的な参画や、都内および全国の観光関連団体・大学等と積極的に連携を図り、観光情報の発信等を通じ地域の活性化を促進した。

① 公益社団法人日本観光振興協会

地方自治体や地域観光団体、観光関連企業等で構成される公益社団法人日本観光振興協会の各種会合に参加し情報交換を行うとともに、観光関係功労者表彰の推薦を行った。

- ・ 関東支部 評議員会 令和5年4月21日  
総会 令和5年5月31日
- ・ 関東ブロック広域観光振興事業推進協議会  
第1回 令和5年4月21日  
第2回 令和5年7月4日
- ・ 関東甲信越静観光協会・連盟協議会  
第1回委員会 令和5年4月21日  
第2回委員会 令和6年2月22日

② 地域団体との連携

地域観光団体等に対し情報提供を行うとともに、観光・地域振興について情報交換を行った。

「ふるさと観光展 IN 仙台駅」(令和5年10月17日～19日)に一般社団法人墨田区観光協会と連携して出展し、広域的な観光情報発信を行った。

- ・ 共同出展：1団体
- ・ 資料出展：15団体

(オ) アンテナショップ支援事業 <東京都受託事業>

都内に集積する日本各地の自治体が運営するアンテナショップを周遊するイベントの実施や広報媒体の作成・配布などのPRを実施することにより、都内消費拡大および地方への誘客を促した。

① リアルイベント実施

第1弾：令和5年9月1日～10月1日、イベント参加店舗数 61 店舗  
第2弾：令和6年1月15日～令和6年3月3日、イベント参加店舗数 60 店舗

② オンラインイベント実施

第1弾：令和5年9月1日～10月1日、イベント参加店舗数 71 店舗  
第2弾：令和6年1月15日～令和6年3月3日、イベント参加店舗数 68 店舗

③ アンテナショップ掲載情報冊子作成・配布

作成・配布数 各回 40,000部 合計 80,000部

(カ) 島しょ地域における観光連携実践プロジェクト <東京都受託事業>

東京諸島の連携強化に向け、東京諸島観光連携推進協議会の行う、連携実践プロジェクトの運営、ツール・商品開発などの事業実施サポートを実施した。

(キ) 世界自然遺産を活用した観光振興 <東京都負担金事業> 【再掲】

小笠原諸島と同様、国内の世界自然遺産登録地を有する地方公共団体（北海道、青森県、秋田県、鹿児島県、沖縄県）と連携し、共同ウェブサイトの運営、動画制作、オンライン広告、有力メディアにおける情報発信、OTAを活用したPR等を行った。

また、前述の地方公共団体と連携し、東京と日本各地への旅行者誘致促進を目的とする、シンポジウム、商談会、及び現地交流会（小笠原）を実施した。

- ・ シンポジウム（東京）：令和6年1月30日(会場・オンラインのハイブリッド開催)  
<会場>申込者数 101名、参加者 68名  
<オンライン>申込者数 253名、参加者数 176名
- ・ 商談会（大阪）：令和5年9月7日  
セラー9団体 バイヤー14社 商談件数 45件
- ・ 商談会（東京）：令和6年1月31日  
セラー9団体、バイヤー11社、商談件数 57件
- ・ 現地交流会（小笠原）：令和5年11月12日～17日  
セラー9団体、バイヤー12社

(ク) 観光協会等と連携した観光産業活性化支援事業〈東京都補助金事業〉(新規)

都内の観光協会等と連携し、地域の特産品の販売や、地域の観光 PR 及び疑似旅行体験イベントを実施し、東京の観光地としての魅力を効果的に発信し、都民だけではなく、観光で訪れた都外旅行者への誘客拡大を図り、観光を通じた地域の活性化につなげた。

- ・ イベント名：TOKYO 周穫祭 2023
- ・ 会期：令和 5 年 11 月 18 日（土）～19 日（日）
- ・ 場所：東京国際フォーラム
- ・ 参加者数：40,106 人

(2) 魅力を高める観光資源の開発（一部新規）〈東京都受託・出捐金・補助金事業〉

(ア) 地域資源発掘型プログラム事業〈東京都出捐金事業〉

観光協会のほか民間企業など多様な主体が共同で実施する観光資源の発掘や既存の観光資源の磨き上げなどによる特産品の開発やイベント等の誘客の取組を支援し、旅行者誘致につなげた。

	申請団体	事業名
1	一般社団法人奥多摩観光協会 ・ 小河内漁業協同組合 ・ 奥多摩総合開発株式会社	ヤマメ廃魚を活用した「やまぼこ」観光商品化事業
2	特定非営利活動法人 神津島観光協会 ・ フルアース ・ 丸一建材	神津島樹木ツアーの開発 ～神秘の樹木と共に～
3	【継続補助事業】公益社団法人八王子観光コンベンション協会	日本の自然と文化を満喫する「夏の高尾山“清涼”体感めぐり」
4	【継続補助事業】一般社団法人青梅市観光協会	体験型コンテンツを組み合わせた新・ご当地料理「青梅・奥多摩ごぜん」開発

(イ) 旅行博による東京の魅力 PR 〈東京都受託事業〉

ツーリズム EXPO ジャパン 2023 に出展し、東京の魅力の効果的かつ積極的に発信した。

- ・ 会期：令和 5 年 10 月 26 日（木）～29 日（日）
- ・ 場所：インテックス大阪
- ・ 内容：各地域の観光協会による観光・特産品 PR ステージ、多摩・島しょ地域の自然を体感する VR 体験、東京の食文化を紹介する展示等

(ウ) 多摩・島しょ魅力発信事業 〈東京都受託事業〉

多摩・島しょ地域の魅力を発信するために、旅行者に対し、ウェブサイト、SNS など様々な情報発信ツール及び広告媒体を多角的に活用した情報発信による集中的なプロモーションを実施した。

① 既存ウェブサイト「TAMASHIMA. tokyo」の外国語サイトのリニューアル

- ・ 日本語ウェブサイト  
YouTuber タイアップ動画、記事等を新たに制作  
メディアタイアップ記事（DISCOVER JAPAN）等を新たに制作
- ・ 外国語ウェブサイト  
メディアタイアップ記事（japan-guide.com）等を新たに制作

② 「TAMASHIMA. tokyo」の SNS の運用

- ・ 既存の Facebook・Instagram アカウントにて週 2 回程度投稿
- ・ 専用の事務局を設置した体制にて継続的に情報を発信

③ メディア向け PR 及び交通広告の実施

- ・ プレスツアー、テレビプロモート等の各種 PR を旅行系メディア・番組等を実施
- ・ 多摩・島しょ地域の観光スポットの魅力をまとめた動画を、都内主要路線の電車内や駅において配信（10 月 30 日～11 月 5 日／2 月 26 日～3 月 31 日）

④ フォトコンテスト・フォトウォークの実施

- ・ ことりっぶとタイアップしてフォトコンテストを実施（8 月 10 日～10 月 9 日、11 月 20 日～1 月 19 日）

(エ) 多摩・島しょ観光交通促進プロジェクト <東京都補助金事業>

多摩・島しょ地域において、移動アクセス手段の更なる充実を図るため、新たな交通サービスの導入など、自治体等が行う交通インフラ整備を支援した。

	申請団体	事業内容
1	町田市	グリーンスローモビリティの導入
2	狛江市	グリーンスローモビリティの運行
3	東大和市	シェアサイクルマップの作成

(オ) 新たなツーリズム開発支援事業 <東京都出捐金事業>

多摩・島しょ地域において、体験型・交流型の要素を取り入れた旅行者に訴求力のある新たな観光事業（富裕層向けを含む。）の開発・実施に対して支援を行った。

具体的には、過年度の採択事業も含めた事業全体に関する広報を行うとともに、令和3年度採択の1事業について、助成事業2年目として支援を行った。

・モデルプロジェクト選定数 7件

採択年度	事業名	実施地域	事業者名
平成30年度	幸福に人が暮らせる里『へんぼり』のツリーハウス型宿泊施設開発事業	檜原村	株式会社井上店
	TRUE FUSSA PROJECT	福生市	株式会社カーライフサービス多摩車両
	NIIJIMA 菜宿物語	新島村	株式会社 Niijima Farmers
令和元年度	武蔵野から繋げる里資源開発型ファームステイ事業	三鷹市	株式会社旅倶楽部
	HINOKO TOKYO “SAUNA CAMP PROJECT”	檜原村	トレイルヘッズ株式会社
令和3年度	多摩のキャンプ場を活用したプライベートサウナサービスの開発	あきる野市	株式会社 do-mo
	宿泊交流施設からつながるピアツーリズム	あきる野市	株式会社けやき出版(事業中止)

(カ) キャッシュレスを活用した島しょ地域誘客促進事業 <東京都出捐金事業>

島しょ地域においてプレミアム付宿泊旅行商品券（しまぼ通貨）を販売することにより、島しょ地域のPR及び旅行者の誘客を推進する。令和5年度は、4月27日に販売開始し、10月12日に予定数8万セットに達したため販売を終了した。

(キ) 島しょ地域を活用した縁結び観光プロジェクト <東京都補助金事業>

島しょ地域の町村、観光協会等が実施する、縁結びに関連する観光資源開発や観光資源を活用したイベント・PR事業等を支援した。

採択年度	実施地域	事業名
令和5年度	神津島村	神津島村縁結び事業運営委託

(ク) 観光型 MaaS 導入支援事業 <東京都出捐金事業>

交通機関等に関する情報提供から予約、決済等ができる観光型 MaaS の多摩地域での導入等に向けた支援を令和4年度から実施した。

採択年度	実施地域	事業者名
令和5年度	立川市、八王子市、福生市	株式会社 JTB

(ケ) 滞在型旅行（ロングステイ）推進事業 <東京都出捐金事業>

観光振興と移動による感染リスクの低減の両立を図るため、新たな旅行スタイルの提供を図るべく、滞在型旅行（ロングステイ）に係る新たな取組に対し費用助成やアドバイザー派遣による支援を実施した。

	申請団体	事業名
1	トレイルヘッズ株式会社	HINOKO TOKYO “BACK TO NATURE” STAY PROGRAM
2	一般社団法人式根島エリアマネジメント	キャリア女性をターゲットにしたアイランドワーケーション
3	株式会社小笠原エコツーリズムリゾート	物の始まりを知るワーケーション体験
4	タエコニ農園	間伐材を活用した楽器キット開発によるロングステイ向け体験型コンテンツの創成事業

(コ) 日本文化を活用した観光振興支援事業 <東京都出捐金事業>

芸術・音楽・伝統芸能や伝統工芸、神社仏閣や歴史的な建造物等の日本文化を活用したイベントや情報発信等の観光振興の取組を支援した。

	協議会名	代表申請者	事業名
1	東京北区日本文化における活用準備協議会	一般社団法人東京北区観光協会	音無かわどこ舞台
2	いわくら物語体験事業協議会	一般社団法人 Iwakura Experience	岩蔵フセギのワラジを巡る『いわくら物語』体験事業
3	TOKYO TOWER CANDLE DAYS 協議会	一般社団法人日本キャンドル協会	TOKYO TOWER CANDLE DAYS 2023

(カ) 富裕層向け夜間・早朝観光コンテンツ開発支援 <東京都出捐金事業>

ユニークベニュー、食、文化・芸能など東京の魅力ある観光資源を活かした、富裕層向けの夜間・早朝観光コンテンツの開発を支援した。

	事業者名	事業名
1	カソク株式会社	東京の夜間・早朝の観光振興に資するラグジュアリーコンテンツ開発
2	株式会社 TOKI	富裕層における観光消費拡大の為の夜間・早朝コンテンツ施策

(キ) 多摩・島しょ地域観光課題解決事業 <東京都出捐金事業>

多摩・島しょ地域の観光産業の活性化を図るため、観光産業の課題解決に向けた市町村・観光協会等の取組への支援を行った。また、神津島村は取組実績を島しょ部の観光協会等に向けて情報共有を行った。なお、本年度は2件の支援支援対象地域において事業に取り組んだ。

	支援対象地域	テーマ
1	神津島村 (R4～R5)	神津島村観光産業基盤整備に向けた課題解決事業
2	八王子市 (R5～R6)	持続可能な高尾観光まちづくり事業～高尾山ブランディング・来訪者平準化・誘致促進・情報発信機能強化～

(ク) サステナブル・ツーリズム推進事業 (一部新規) <東京都出捐金事業>

観光協会や観光関連事業者等が行うコンテンツ開発やプロモーション等、多摩・島しょ地域における環境配慮型旅行に係る新たな取組を支援した。また、地域の文化や環境などを学ぶツアーについてガイドラインを展開するとともに、地域における持続可能な観光まちづくりに係る取組を支援することで、都内のサステナブル・ツーリズムの推進を図った。

① 環境配慮型旅行推進事業

環境配慮型旅行に係る新たな取組に対して費用を助成するとともに、アドバイザリー支援及び広報支援を行う。(事業期間が最長2年間であるため、令和4年度採択事業も含めて記載)

採択年度	申請団体	事業名
令和4年度	一般社団法人小笠原母島観光協会	小笠原村北港周辺の自然環境保全と観光の両立を目指した環境整備事業

令和4年度	一般社団法人 小笠原ホエールウォッチング協会	旅行者を対象にした野生生物保全への貢献プログラムの開発～イルカの生態調査を例に～
令和5年度	タエコニ農園	観光農園の環境配慮型全天候対応化事業～サステイナブルアグリツーリズムへの転換～
令和5年度	株式会社 do-mo	南沢あじさい山が目指す、エコ・サステイナブルツーリズムからはじまる持続可能な観光名所
令和5年度	沿線まるごと株式会社	沿線まるごとホテルプロジェクト：東京の暮らしを支える多摩川上流部の“森と水”豊かさに触れるサービス造成事業

② 地域のサステナブル・ツーリズム推進事業

地域の文化や環境などを学ぶツアー造成に関するガイドライン「サステナブル・ツーリズムにつながるスタディツアーをつくろう ～造成ノウハウ&実践事例集～」を作成し都内地域に展開した。

また、持続可能な観光まちづくりを目的として実施する新たな取組を支援する「地域のサステナブル・ツーリズム推進助成金」の募集を行い、2団体の支援を決定した。

	申請団体	事業名
1	一般社団法人式根島観光協会	STGs スタディツアーの造成事業
2	新宿エコ・カル 2024 協議会	新宿エコ・カル 2024 in 新宿御苑

(セ) 多摩・島しょアドベンチャーツーリズム推進事業（新規）＜東京都出捐金事業＞

多摩・島しょ地域に豊富にある地域資源を生かした体験型コンテンツの開発・磨き上げを行う等のアドベンチャーツーリズム推進に係る取組を支援した。

	申請団体	事業名
1	御神火茶屋	伊豆大島の自然と歴史を学びながら巡る体験型ツアー
2	特定非営利活動法人フジの森	大人が夢中になれるような本格的かつ上質な自然体験プログラム
3	株式会社 井上店	『気が満ちる』を実感する、たなごころ Village のリトリート体験
4	株式会社小笠原エコツーリズムリゾート	人類入植 200 年の足跡を感じる自然との融合体験
5	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	水と緑の道アートウオークプロジェクト・アドベンチャーツーリズム
6	トレイルヘッズ株式会社	HINOKO Lodge を拠点とした檜原村の大自然を楽しむコンテンツ開発
7	一般社団法人 フォースウェルネス	国際基準の AT ガイド育成および AT コンテンツ造成事業

(3) 観光まちづくりの支援事業の実施 ＜東京都出捐金・補助金事業＞

(ア) 地域における観光まちづくりの支援

観光関連団体等による地域主導の自主的な活動の充実を図り、東京全体の観光産業振興の底上げと観光を通じた地域の活性化につなげる。

① 観光活性化フォーラムの開催 ＜東京都補助金事業＞

地域の観光まちづくりの参考となる基調講演や事例発表等を行うとともに、地域の取組や観光素材等を紹介する展示交流会を実施した。15 団体が出展し、参加者数は 345 名（会場参加・オンライン参加）となった。

② アドバイザー派遣事業＜東京都出捐金事業＞

- ・ アドバイザーによるチーム支援事業

各地域の課題にあわせ、8 団体へ計 8 名の専門家を派遣した。

	申請団体	派遣アドバイザー	
		氏名	所属団体
1	小金井市観光まちおこし協会	大迫 道治	まちづくりラボ・サルベージ株式会社
		上垣 真子	まちづくりラボ・サルベージ株式会社
2	東京北区観光協会	Stancov Alexander Dimitrov	地方色～Local Colors
3	清瀬商工会	井上 正幸	一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社
4	こくぶんじ観光まちづくり協会	福島 達也	公益財団法人公益推進協会
5	檜原村観光協会	Stancov Alexander Dimitrov	地方色～Local Colors
6	八丈島観光協会	田中 三文	一般社団法人ほの国東三河観光ビューロー
7	渋谷区観光協会	鶴本 浩司	株式会社マーケティング・ボイス
8	町田市観光コンベンション協会	吉澤 清良	立命館アジア太平洋大学

・ マーケティングを活用した事業計画策定支援

旅行者の多様なニーズや地域の魅力・強みを的確に把握するためのマーケティング調査・分析等と、アドバイザーの派遣を行うことにより効果的な旅行者誘致の展開に向けた事業計画等の策定支援を目的として、以下の3件の事業支援を実施した。

	申請団体	事業概要
1	八丈島観光協会	八丈島における一人あたり観光消費額向上に向けた『地域資源の訴求』、『島内周遊性改善』のための調査及びアクションプラン策定事業（令和6年9月まで）
2	渋谷区観光協会	渋谷マーケティング実態調査及び事業計画策定支援（令和6年4月まで）
3	町田市観光コンベンション協会	マーケティングを活用した町田市観光戦略策定事業（令和6年9月まで）

・ 地域連携プラットフォームの運営・拡充

観光協会等を対象としたポータルサイトを活性化させるための支援を行うとともに、新しい機能を導入するなどし、観光協会等の取組を共有するプラットフォームを構築した。同時に東京都観光協会交流会の開催を通じて団体間の連携の強化を図った。

③ 学生インターン事業 <東京都出捐金事業>

【個別派遣】

教育機関が有する人材や知見を事業運営に活用するとともに、将来の地域活性化の新たな担い手を育成するため、都内の観光系の学部を有する大学等の学生を観光協会等に派遣した。

	派遣先	大学名
1	一般社団法人 墨田区観光協会	駒沢女子大学 東京都立大学
2	特定非営利活動法人神津島観光協会	立教大学
3	一般社団法人港区観光協会	東京女子大学
4	一般社団法人 新宿観光振興協会	武蔵大学

5	一般社団法人中央区観光協会	日本大学 産業能率大学
6	一般社団法人 昭島観光まちづくり協会	杏林大学

【ゼミ派遣】

都内の観光協会等が抱える課題解決に向けて、新たな視点を取り入れた地域の取組を推進するとともに、地域への理解促進や将来の地域活性化の担い手を育成することを目的として、観光協会と都内の観光の観光関連分野の大学等が協働でワークショップ等を実施した。

	団体名	大学・ゼミ名	課題名
1	(一社) 昭島観光まちづくり協会	明治大学 政治経済学部 奥山ゼミ	就活生専用企業訪問町あるき
2	(一社) こだいら観光まちづくり協会	文化学園大学 国際文化・観光学科 栗山ゼミ	名物づくり・グルメ開発
3	(一社) こだいら観光まちづくり協会	東洋大学 国際観光学部 杉本ゼミ	にぎわいの場づくり
4	(公社) 八王子観光コンベンション協会	立教大学 観光学部 羽生ゼミ	地域ブランディング活動・土産品の磨き上げ
5	(公社) 八王子観光コンベンション協会	駒沢女子大学 観光文化ゼミ (本間ゼミ)	新規来訪者の獲得
6	(公社) 八王子観光コンベンション協会	成蹊大学 経済地理学ゼミ (小田ゼミ)	日本遺産認定及び構成文化財の認知度向上

④ 観光人材育成支援事業 <東京都補助金事業>

地域の観光振興をリード・コーディネートしていくことができる人材を育成するため、地域の観光振興を担う観光協会等に対して多面的に人材育成研修を実施した。

研修テーマ	開催日	参加者数	実施方法
「新任研修」	令和5年6月29日(木)	21名	オンライン
「街歩きツアー」	令和5年10月4日(水)	11名	実地
「街歩きツアー講演会」	令和5年10月4日(水)	10名	実地
「情報発信「基礎編」講習会」	令和5年11月2日(木)	13名	オンライン
「情報発信「実践編」ワークショップ」	令和5年11月30日(木)	10名	オンライン+実地
「観光トレンドを学ぶ講習会」	令和6年1月5日(金)	14名	録画映像配信
「京都視察ツアー」	令和6年1月26日(金)	13名	実地

⑤ 観光まちづくり支援助成事業 <東京都出捐金事業>

地域の観光協会および観光関連団体等が取り組む観光産業の活性化や経営力強化を目的とした事業に対して、13件の助成を行った。

	申請団体	事業概要
1	こだいら観光まちづくり協会	未来に残したい小平景観ベスト10
2	狛江市観光協会	狛江市観光PR動画制作委託事業
3	調布市観光協会	映画「花束みたいな恋をした」多言語版ロケ地マップ作成・配布業務
4	稲城市観光協会	三沢川で稲城探索クイズラリー
5	練馬区産業振興公社	全国都市農業フェスティバル機運醸成事業「Nerima オータムフェスト」～Nerima シェフズクラブ&大泉パティシエクラブ pres. 味の祭典～
6	中央区観光協会	東銀座エリア回遊型宝探しイベント
7	板橋区観光協会	SNSを主軸とした観光情報発信にかかるショート動画プロモーションの実施
8	めぐろ観光まちづくり協会	目黒の伝説キャラクターのアニメ制作による観光誘致の促進
9	小笠原村観光協会	長期滞在型観光促進に係る 情報発信強化事業
10	新宿観光振興協会	甲州街道内藤新宿マップ制作
11	立川観光コンベンション協会	怪獣8号×立川市 防衛隊員の休日
12	中野区観光協会	アニメ「五等分の花嫁」5周年記念コラボレーション 中野周遊事業
13	国立市観光まちづくり協会	「中央線沿線」観光まちづくり発掘事業

(イ) 水辺のにぎわい創出事業 <東京都出捐金事業>

観光関連団体や水辺活動団体等が行う水辺のにぎわいを創出する事業を支援した。

	申請団体	事業名
1	一般社団法人亀島川にぎわい創出協議会	亀島川テラスプロジェクト
2	株式会社水辺総研	「汐浜テラス賑わい拠点」整備

(ウ) 東京ライトアップ発信プロジェクト <東京都出捐金事業>

① 建造物等のライトアップモデル助成

都内の建造物等を保有する民間事業者・区市町村等が行うライトアップの取組を支援した。

	申請団体	事業名
1	港区	港区芝浦港南地区橋りょう等ライトアップ
2	公益財団法人梅若会	梅若能楽学院会館ライトアップ事業

② 春・秋のライトアップモデル助成

地域が行う春や秋の自然などを活用したライトアップの事業を支援した。

<春> 7件 <秋> 6件

	申請団体	事業名
1	一般社団法人中野区観光協会	令和5年度 中野通り桜ライトアップ事業
2	一般社法人大崎エリアマネジメント	目黒川さくらのライトアップ2024 ～ colorful YOZAKURA～

3	一般社団法人上野観光連盟	上野公園 桜 ライトアップ
4	一般社団法人日の出町観光協会	ひので桜ライトアップ事業
5	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	桜・ライトアップ in こだいら 2024
6	一般社団法人青梅市観光協会	青梅釜の淵桜ライトアップ事業
7	中井商工会	妙正寺川 桜ライトアップ事業
8	西新宿一丁目商店街振興組合	東京都道新宿副都心八号線 秋の紅葉 ライトアップ
9	一般社団法人こだいら観光まちづくり協会	萩山公園ライトアップ～きらめく紅葉 につつまれて～
10	一般財団法人公園財団	花畑記念庭園 秋のライトアップ
11	一般社団法人東京北区観光協会	飛鳥山秋の紅葉ライトアップ～赤の世界に 魅せられて～
12	一般社団法人千代田中央文化交流推進機構	神田明神紅葉ライトアッププロジェクト 2023
13	一般社団法人葛飾区観光協会	葛飾柴又・山本亭及び柴又公園ライト アップ事業

③ ライトアップのマップ管理・発送

東京を訪れる旅行者が東京の夜の時間帯を楽しめるよう、東京の夜景やライトアップ等のスポット、ナイトライフを楽しめる施設等を紹介するガイドブック「TOKYO NIGHT Story」の配布及びウェブサイトの発信を行った。

(エ) 東京プロジェクションマッピング促進支援事業 <東京都出捐金事業>

地域が主体となり、都内において取り組むプロジェクションマッピング事業を行う 5 事業（内、1 件は継続 2 年目事業）の支援を決定した。

	申請団体	事業名
1	中野区	中野サンプラザプロジェクションマッピング制作、投影等業務
2	一般社団法人竹芝タウンデザイン	ウォーターズ竹芝 光と音で彩るプロジェクションマッピング『碧のキラメキ』
3	株式会社 Princess Tiara	プロジェクションマッピング・イン・築地本願寺
4	一般社団法人上野観光連盟	ピースオブライト
5	FPV Robotics 株式会社（継続 2 年目）	Future Art Tokyo 2024

(オ) 観光まちづくりサポート事業 <東京都出捐金事業>

都内観光協会が抱える観光まちづくりに係る課題を解決するため、多様な職務経験を有するプロボノ人材 7 名を 2 協会へ派遣した。

	団体名	プロジェクト内容
1	一般社団法人昭島観光まちづくり協会	観光協会の法人会員拡大に向けた中長期戦略と具体的プラン策定
2	一般社団法人檜原村観光協会	地域の魅力発信パンフレットづくりと SNS・WEB サイトを活用した情報発信

(カ) 夜間・早朝利活用促進事業 <東京都出捐金事業>

観光関連団体等が行う夜間・早朝イベント、PR等の取組を支援。

	団体名	事業名
1	東武鉄道株式会社	すみだリバーウォークと隅田公園 東京下町回遊 竹あかり演出
2	一般社団法人天王洲・チャンネルサイド活性化協会	天王洲 「休日の朝コト」 観光プロジェクト

(4) 東京フィルムコミッション事業 <東京都受託事業・出捐金事業>

(ア) 東京ロケーションボックスの運営 <東京都受託事業>

都内における映画、ドラマ等撮影に係る各種の相談窓口として、「東京ロケーションボックス」を運営した。制作会社等に対し、撮影における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策マニュアルの厳守をもとにロケ地情報や撮影許可に関する施設との調整、警察・消防への許可申請手続きの指導・助言等の支援を実施した。

年間の問い合わせ件数は4,210件で、うち支援件数は1,362件だった。

対応実績 ※ ( ) は海外 (内数)

カテゴリー	映画		テレビ番組			WEB 映画 その他 ドラマ	スチール	ミュージック ビデオ	ジャンル	撮影以外	合計	
	劇場映画	その他映画	TV ドラマ	その TV 番組 その他	CM							
問合せ 件数	410 (99)	71 (15)	567 (1)	287 (26)	232 (7)	463 (78)	99 (2)	88 (4)	143 (3)	1850 (5)	4,210 (240)	
支援 件数	314 (85)	14 (5)	427	60 (17)	102 (3)	340 (73)	17	41 (3)	44	3	1,362 (186)	
許可 件数	都立	10 (1)	0	21	0	5	11 (2)	3	4 (1)	1	0	55(4)
	その他	10 (3)	0	30	3	2	22 (9)	0	2	0	1	70(12)
	計	20 (4)	0	51	3	7	33 (11)	3	6 (1)	1	1	125(16)

(イ) PR事業

① 海外映画祭見本市等への現地出展、PR実績

- ・ カンヌ国際映画祭併設国際見本市 2023  
令和5年5月16日～5月24日
- ・ Asian Contents & Film Market (釜山)  
令和5年10月7日～10月10日
- ・ TIFFCOM/Japan Contents Showcase 2023  
令和5年10月25日～10月27日
- ・ American Film Market 2023  
令和5年10月31日～11月5日
- ・ ベルリン国際映画祭併設マーケット 2024  
令和6年2月15日～2月21日
- ・ 香港フィルマート 2024  
令和6年3月11日～3月14日

② 支援作品を活用したPRの開催実績

- A) 東京ロケーションボックス+ムービーウォーカーPRESSタイアップ企画

フィルムコミッション活動と支援作品 PR

掲載期間：令和5年9月6日～10月4日 支援作品1作品特集コラム

令和6年3月1日～3月22日 支援作品1作品、イベント等特集  
コラム

掲載場所：ムービーウォーカーPRESS（ウェブサイト）配信

B) イベント「映画・ドラマの都 東京+関東ロケツアーリズムフェスティバル」

都内及び関東圏のロケツアーリズムPR

実施期間：令和6年3月2日～3月8日

掲載場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

(ウ) 海外作品制作支援事業 <東京都出捐金事業>

都内を舞台とした映画及びドラマ等の海外公開作品のロケハン及び撮影支援の計5事業の支援を決定した。

(ロケハン支援)

	申請団体	作品名
1	株式会社フラッグ	Akashi（日本・カナダ共同製作）
2	株式会社ロジ	Remnants of Yesterday（日本・アメリカ共同製作）

(撮影支援)

	申請団体	作品名
1	株式会社フラッグ	Akashi（日本・カナダ共同製作）
2	株式会社MAM FILM	A Missing Part（日本・フランス・ベルギー共同製作）
3	平成プロジェクト株式会社	英雄「ジャロロフ」（日本・ウズベキスタン共同製作）

(5) 東京シティガイド検定の実施

国内・海外からの訪都旅行者に対して東京の魅力を紹介できる人材の育成を目的として、「東京シティガイド検定」を、全国のテストセンターにてオンラインで受験する「CBT 試験」にて実施した。

(ア) 第21回東京シティガイド検定試験

実施期間：令和6年1月12日～1月31日

会場：全国の提携テストセンター（約300箇所）

受験者数：513名（実受験者数487名）

合格者数：383名

合格率：78.6%

(イ) 試験対策セミナー

実施期間：令和5年12月1日～令和6年1月11日

実施方法：事前録画したセミナーをオンデマンドにて配信

受講者数：115名

(ウ) 検定委員会

第1回 令和5年5月17日（書面開催）

第2回 令和5年9月14日

第3回 令和6年3月12日

(6) 被災地応援ツアーの実施 <東京都出捐金事業>

東日本大震災等により大きな被害を受けた福島県の復興を支援するため、旅行事業者等と連携して「福島被災地応援ツアー」を実施した。また、震災により大幅に減少した福島県の教育旅行増加に向け、福島県が実施する事業と連携し、都内の学校が実施する福島県への教育旅行に対して、バス料金に対する経費の一部補助を実施した。

(ア) 宿泊・日帰り旅行支援

事業概要：旅行会社で購入する東京都から福島県への宿泊旅行と日帰り旅行に対し、宿泊旅行1泊3,000円、日帰り旅行1人1,500円の割引\*を行う。

\*令和5年10月27日(金)から令和5年12月8日(金)までは1,000円上乘せして割引。

実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

実績：宿泊旅行1,753泊、日帰り旅行216回

旅行会社数：114社

(イ) 福島県教育旅行復興支援

事業概要：都内の学校が実施する福島県への宿泊を伴う教育旅行に対し、上限7万円の範囲内でバスに要する経費の1/2を支援する。

実施期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

実績：14回

#### 4 観光産業の支援に関する事業

(1) 東京観光産業ワンストップ支援センターの運営 <東京都出捐金事業>

(ア) 総合相談窓口の運営

観光関連事業者の経営課題等に対して、相談から解決に向けた取組への支援にワンストップで対応する総合相談窓口を運営した。個々の事業者の状況やニーズに合わせ、支援策の紹介や専門家の派遣を実施し、観光関連事業者の経営力向上を支援した。また、人手不足の解消に向けた緊急対策として実施された、都主催の『観光・飲食・建設・運輸業界』就職フェアにおいて、センター運営等を通じて構築した観光関連事業者とのネットワークを活用して参加企業募集に協力し、参加促進を図った。

・センター相談受付件数：974件

・専門家派遣件数：69社（延べ回数233回）

(イ) 東京観光産業ワンストップ支援センターウェブサイトの運営

観光関連事業者向けの支援策を一元的に紹介するウェブサイトを運営し、新たな支援策や補助事業の活用事例など、様々な情報を分かりやすく発信した。また、新たに補助金活用等の動画コンテンツを作成し、観光事業者に分かりやすい情報発信を強化した。

(ウ) 観光経営力強化セミナー等の実施

観光関連事業者に対し、先進的な取組や生産性の向上、新技術活用等の紹介を行う経営セミナーや、異業種間連携を促進する事業者交流会を開催した。関連団体等と連携し、オーダーメイドでの事業説明会や出張相談会を実施した。

・経営セミナー実施回数：4回

・事業者交流会実施回数：4回

・事業説明会等の実施回数：24回

(2) 観光産業の活性化（一部新規） <東京都出捐金事業>

(ア) 宿泊施設活用促進事業

・事業概要：宿泊事業者が経営環境の変化や多様な顧客ニーズに対応するために行う、需要の創出・収益力向上に資する取組に対して経費の補助を行った。

・補助額：補助対象経費の2分の1以内（中小企業の場合は3分の2以内）

・補助限度額：500万円

(イ) 観光経営力強化事業（生産性向上・新サービス商品開発・体験型コンテンツ支援）

・事業概要：観光関連事業者が経営力強化に向けて行う生産性向上や新たなサービス・新商品、体験型コンテンツの開発に係る取組に対して経費の補助を行った。

・補助額：補助対象経費の3分の2以内

・補助限度額：1,500万円（新サービス商品開発・体験型コンテンツ支援は500万円）

(ウ) 観光関連事業者の連携促進による経営支援事業

・事業概要：新たな観光需要を創出し地域経済の活性化につなげるため、旅行業者が事業者と連携して行う、地域の特色等を活かした新たな旅行商品の造成等に対して経費の補助を行った。

- ・補助額：補助対象経費の3分の2以内
  - ・補助限度額：200万円（自社以外の4者以上と連携した場合は300万円）
- (エ) アドバイザーを活用した観光事業者支援事業
- ・事業概要：観光関連事業者が専門家からアドバイスを受けて行う経営の改善や新しい事業展開に向けた取組に対して経費の補助を行った。
  - ・補助額：補助対象経費の3分の2以内
  - ・補助限度額：200万円
- (オ) 観光資源の保全等のための支援事業（新規）
- ・事業概要：観光資源として東京の魅力発信に資する建物や技能・技術を有する観光関連事業者が行う観光資源の維持・保全の取組に対して経費の補助を行った。
  - ・補助額：補助対象経費の3分の2以内（地域の協議会等が作成する計画を基に指定する重点エリア内は4分の3以内）
  - ・補助限度額：1,000万円（地域の協議会等が作成する計画を基に指定する重点エリア内は1,500万円）
- (カ) 観光事業者のデジタル化促進事業
- ・事業概要：観光事業者が生産性の向上や商品の付加価値化を図るために行うICT化やDXの取組に対して経費の補助を行った。
  - ・補助額：補助対象経費の3分の2以内
  - ・補助限度額：3,000万円
- (キ) 宿泊施設デジタルシフト応援事業（新規）
- ・事業概要：宿泊事業者が人手不足解消や業務効率化等の早期解決に向けて行うデジタルツール導入など短期的なデジタル化の取組に対して経費の補助を行った。
  - ・補助額：補助対象経費の3分の2以内
  - ・補助限度額：150万円
- (ク) 観光事業者による環境対策促進事業（新規）
- ・事業概要：観光事業者が自ら策定した環境対策に関する計画等を実施するために必要な設備導入・更新等の取組に対して経費の補助を行った。
  - ・補助額：補助対象経費の2分の1以内（中小企業の場合は3分の2以内）
  - ・補助限度額：1,500万円
- (ケ) 観光関連事業者向け安全・安心確保支援事業
- ・事業概要：団体旅行の早期需要回復に向けて、都内旅行業者が企画する受注型企画旅行に係る安全・安心のための事業者の取組等に対して経費の補助を行った。
  - ・補助額：補助対象経費となる以下の経費について、
    - 広報経費：3分の2以内
    - 感染対策備品等購入経費：3分の2以内
    - ツアーコンダクター経費：
      - （第1種登録旅行業者）3分の2以内、2人目以降は4分の3以内
      - （第2種、第3種、地域限定登録旅行業者）4分の3以内、2人目以降は5分の4以内
    - 交通機関貸切経費：
      - （第1種登録旅行業者）3分の2以内、2台目以降は4分の3以内
      - （第2種、第3種、地域限定登録旅行業者）4分の3以内、2台目以降は5分の4以内
  - ・補助限度額：
    - 広報経費：1事業者当たり20万円
    - 感染対策備品等購入経費：1受注旅行当たり20万円（1施設5万円）
    - ツアーコンダクター経費：1人1日当たり3万円
    - 交通機関貸切経費：貸切バス 1日1台当たり12万円
      - 鉄道・軌道 1回当たり22万円
      - 水上交通 1回当たり24万円
      - タクシー 1日1台当たり4万円
- (コ) グループ交流等促進観光支援事業

- ・事業概要：団体旅行の早期需要回復に向けて、安全・安心に実施できるグループなどでの団体旅行を支援するため、都内旅行業者の手配旅行に係る取組に対して経費の補助を行った。
- ・補助額：
  - （第1種登録旅行業者）補助対象経費の2分の1以内、2台目以降は3分の2以内
  - （第2種、第3種、地域限定登録旅行業者）補助対象経費の3分の2以内、2台目以降は4分の3以内
- ・補助限度額：貸切バス 1日1台当たり12万円  
 鉄道・軌道 1回当たり22万円  
 水上交通 1回当たり24万円  
 タクシー 1日1台当たり4万円

(3) 受入環境インフラの整備（一部新規）＜東京都出捐金事業＞

(ア) デジタルサイネージを活用した観光情報ネットワーク事業

- ・事業概要：外国人旅行者の利便性向上を目的に、街なかで観光情報などを多言語で提供する高機能型観光案内標識（デジタルサイネージ）40基の運用管理を行った。
- ・提供情報：観光スポット、宿泊施設、飲食店、ATMなど（各施設までの道順を表示）、Lアラート（災害時情報発信システム）と連携した災害情報等
- ・対応言語：日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）、韓国語

(イ) 観光インフラ整備支援事業

① 区市町村観光インフラ整備支援

- ・事業概要：観光案内標識の整備・更新、多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、区市町村が計画的に行う外国人旅行者向けの受入環境の整備に関する取組に対して経費の補助を行った。
- ・補助額：補助対象経費の2分の1以内  
 （ただし、安全・安心の確保と地域・住民に寄り添った観光地域経営の推進（混雑緩和やマナー啓発等）は3分の2以内）
- ・補助限度額：1億円（1区市町村当たり、令和2年度から令和6年度までの合計）

② 観光施設の国際化支援

- ・事業概要：多言語対応の改善・強化や情報通信技術の活用など、都内民間観光施設が行う外国人旅行者向けの受入環境整備に関する取組に対して経費の補助を行った。
- ・補助額：補助対象経費の2分の1以内
- ・補助限度額：1,000万円（1施設当たり、令和2年度から令和6年度までの合計）

(ウ) 観光バス等バリアフリー化支援事業

- ・事業概要：高齢者や障害者等も含め誰もが安心して都内観光を楽しめるよう、主要な交通インフラである観光バスについて、乗降用リフト付車両の導入に対して経費の補助を行った。
- ・補助額：補助対象経費について、大型車800万円、中型車500万円、小型車300万円を限度（1台当たり）  
 観光バス等バリアフリー化にかかる経費に加えて、感染拡大防止対策のための設備等や高性能車内換気機器を導入する場合、当該経費の1/2（補助限度額 1台あたり100万円）を補助

(エ) 宿泊施設のバリアフリー化支援事業

- ・事業概要：旅行者が安全かつ安心して利用できるよう、都内民間宿泊施設が実施するバリアフリー化に関する取組に対して経費の補助を行った。
- ・補助額：補助対象経費の最大10分の9以内
- ・補助限度額：バリアフリー化整備にかかる各事業の補助限度額（カッコ内は一定要件を満たす場合）

補助対象経費	延床面積 1,000 m <sup>2</sup> 未満の施設	延床面積 1,000 m <sup>2</sup> 以上の施設
(1) コンサルティング	100万円	100万円

(2) 施設整備	3,000万円(6,000万円)	2,500万円(5,000万円)
(3) 客室整備	4,800万円(9,600万円)	4,200万円(8,400万円)
(4) 備品購入	320万円	270万円
(5) 実施設計	100万円	90万円

(オ) タクシー事業者向け多言語対応端末導入補助事業

- ・事業概要：タクシーを利用する外国人旅行者の利便性の向上を図るため、タクシー事業者が行う多言語対応等に活用できるタブレット端末等の導入に対して経費の補助を行った。
- ・補助額：補助対象経費の2分の1以内（個人事業主の場合は10分の9以内）
- ・補助限度額：補助対象車両の数に5万円を乗じた額（個人事業主の場合は9万円）

(カ) インバウンド対応力強化事業

- ・事業概要：宿泊・飲食・小売事業者等が行う多言語対応やトイレの洋式化など外国人旅行者の受入環境充実に係る取組に対して経費の補助を行った。
- ・補助額：補助対象経費の2分の1以内
- ・補助限度額：300万円（1施設・店舗当たり）

(キ) 飲食事業者向けベジタリアン・ヴィーガン認証取得支援事業（新規）

- ・事業概要：外国人旅行者の安心感・満足感の向上や飲食店の新規顧客獲得に向けて、飲食事業者が行うベジタリアン・ヴィーガンに関する認証取得に対して支援を行った。
- ・補助額：補助対象経費の2分の1以内
- ・補助限度額：20万円（1店舗当たり）

(ク) 外国人旅行者受入に係る経営活力向上支援事業

- ・事業概要：宿泊・観光バス事業者等が実施する収益確保に向けた経営力強化や人材育成等の取組に対して経費の補助を行った。
- ・補助額：補助対象経費の3分の2以内
- ・補助限度額：200万円（1事業者当たり）

## 5 観光情報の発信に関する事業

(1) ウェブサイトによる情報発信 <東京都補助金事業>

東京の観光公式サイト「GO TOKYO」において、東京の総合的な観光情報を9言語・10種類（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、フランス語及びタイ語）で継続的に発信した。また、バナー広告を掲載し、広告収入を確保した。

言語	アクセス数* (令和5年4月～令和6年3月)
総合 TOP	79,665
日本語	7,687,507
英語	9,311,792
中国語（簡体字）	944,066
中国語（繁体字）	4,568,916
韓国語	3,004,615
ドイツ語	352,447
イタリア語	253,172
スペイン語	561,748
フランス語	555,781
タイ語	1,092,434
その他**	1,225
合計	28,413,368

\*アクセス数はページビューでカウント

\*\*「その他」はアクセス解析ソフトにより言語の区別がつかなかったページビューである。

また、SNS（Facebook、Weibo等）において、東京都内各地の観光情報を発信した。

媒体	言語	読者数*（令和6年3月末）
Facebook	日本語	7,376
	英語	592,637
	中国語（繁体字）	244,913
	韓国語	21,151
	ドイツ語	7,633
	イタリア語	26,215
	スペイン語	38,325
	フランス語	23,372
	タイ語	104,112
Weibo	中国語（簡体字）	136,839
WeChat	中国語（簡体字）	23,424
NAVER	韓国語 ※年間閲覧数	154,218

\*読者数はアカウントのフォロワーの数

## (2) 東京ブランドの推進事業

### (ア) 東京ブランドの発信 <東京都補助金事業>

旅行地としての東京を強く印象付ける「東京ブランド」の確立に向けた取組の一環として、主に国内の多様な主体が東京ブランド「ロゴ」を活用していくための申請受付、承認、管理等を包括的に行う管理事務局を運営した。また、東京ブランド「ロゴ」公式サイト の維持・運営を行った。

### (イ) 東京の魅力発信プロジェクト <東京都負担金事業>

東京ブランドの普及・浸透を図るため、民間事業者等から連携事業の提案を受け、東京ブランドアイコンの普及・浸透に特に効果的な4提案に対し、都と提案者が共同で費用を支出し、連携して事業を実施した。

	申請団体	プロジェクト名称
1	株式会社朝日新聞社	東京銭湯プロジェクト わ〜るど み〜つ 湯
2	東武鉄道株式会社	水と緑溢れるイースト TOKYO の魅力発信
3	株式会社朝日新聞出版	歩けば見つかる新しい東京～「まち歩き地図東京さんぽ2024」× Tokyo Tokyo～
4	独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	Tokyo Tokyo × 博物館に初もうで リアルとバーチャル文化体験

### (ウ) インナーブランディングの強化（一部新規） <東京都受託事業>

都民や民間事業者等と東京ブランド「アイコン」のコンセプトを共有し、東京ブランドの一層の浸透を図るため、インナーブランディングの強化に向けた、都民参加型のキャンペーンを都内3地域（多摩地域・島しょ地域・区部）で実施した。

・キャンペーン名「あしたの東京プロジェクト」

キャンペーン参加者数 1,125名（応募者14,294名）

多摩グリーンツーリズム 令和5年10月14日

東京島ネイチャーツーリズム 令和5年12月16・17日

HAPPY NEW YEAR TOKYO(東京ランタンセレモニー) 令和5年12月31日

地域催事へのブース出展2件 多摩ランタンフェスティバル、立川よいと祭り

併せて、海外向けに東京の魅力発信を行うことに意欲のある若者を観光インフルエンサー（TOKYO 観光 PR 隊）として募集し、SNS を通じて東京の魅力を発信する取り組みを支援することで、次世代の観光を担う若年層の地域への理解を促進し、愛着を深めた。

(エ) 東京おみやげプロジェクトの展開 <東京都受託事業>

東京を訪れた旅行者を対象に、民間事業者と共同して、東京ブランド「アイコン」を活用した「東京おみやげ」を開発した。また、東京ブランドの発信拠点（常設店）を新設し、開発商品を販売した。

- ・累計事業者数：45 事業者 73 品目
- ・東京ブランド発信拠点：「#TokyoTokyoBASE」（羽田空港第3ターミナル内）
- ・出張出店 2 回 上野恩賜公園開園 150 周年総合文化祭、E-Tokyo Festival 2024

(3) ウェルカムカードの作成 <東京都補助金事業>

国内外の旅行者に東京の観光情報を提供するウェルカムカードとして、東京トラベルガイドを 9 言語・10 種類（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語、独語、仏語、西語、伊語）で作成し、東京観光情報センターをはじめ、東京観光案内窓口、宿泊施設等で提供した。

(4) ムスリム及びベジタリアン旅行者向けパンフレットの作成 <東京都補助金事業>

(ア) ムスリム旅行者向けパンフレットの作成

ムスリム旅行者の受入に取り組んでいる都内飲食店やホテル、礼拝所等を紹介したムスリム旅行者向けのパンフレット（TOKYO MUSLIM Travelers' Guide）を作成し、東京観光情報センター、東京観光案内窓口、宿泊施設等で配布した（日本語及び英語、ただし日本語版はデジタルパンフレットギャラリー上での公開のみ）。

(イ) ベジタリアン旅行者向けパンフレットの作成

ベジタリアン旅行者等の受入に取り組んでいる都内飲食店を紹介したパンフレット（TOKYO Vegan & Vegetarian Restaurant Guide）を作成し、東京観光情報センター、東京観光案内窓口、宿泊施設等で配布した（日本語及び英語、ただし日本語版はデジタルパンフレットギャラリー上での公開のみ）。

(5) 観光ボランティアの管理運営 <東京都受託事業>

(ア) 東京都観光ボランティアの運営

① 都庁案内ガイドサービス・展望室ガイドサービス

都庁舎や展望室を訪れる外国人旅行者に対し、都庁舎内や展望室を外国語で案内した。

② 街なか観光案内

外国人旅行者が多く訪れる 10 地域において、国内外からの旅行者に観光案内等を実施した。

(イ) 観光ガイドサービス

障害者や高齢者等に配慮したツアー及びナイトツアーの 2 コースを新設し、外国人旅行者を対象にした都内 15 ルートのガイドツアーを実施した。

(ウ) 観光ボランティアの派遣

公的団体並びに国際会議の主催者等の要請に応じ、会場案内や事務局補助活動等を行う観光ボランティアを派遣した。

<令和 5 年度各種ボランティア活動実施結果>

- ・観光ボランティア登録者数 3,602 名（休止者等 417 名含む）  
うち、新規採用観光ボランティア登録数 328 名
- ・都庁案内ガイドサービス実施件数：892 件  
展望室ガイドサービス実施件数：15,636 件
- ・街なか観光案内対応件数：127,305 件
- ・観光ガイドサービス実施件数：685 件
- ・観光ボランティア派遣：33 回（派遣者数：延べ 252 名）

(エ) 東京都観光ボランティアの管理

- ① 観光ボランティア向け研修の実施  
観光ボランティアとしての資質向上を図るため、eラーニングシステムも効果的に活用しながら研修を実施した。
  - ② ボランティアポータルサイトの運用  
ポータルサイトの運営により、活動の連絡や記録を行うとともに、観光情報やマニュアル等を観光ボランティアに公開した。
  - ③ 大学生向け観光ボランティア参加促進プログラムの実施  
観光ボランティアへの参加を促すため、大学生を対象に東京の魅力を学び、観光ボランティアとの交流を通じ、外国人旅行者へのおもてなしを考えるプログラムを実施した（参加者 35 名、応募者 338 名）。
- (オ) おもてなし親善大使の育成
- ① おもてなし親善大使育成塾の開催  
都内在住・在学の中高生を対象におもてなしの心を具体的行動で表すためのスキルや知識を身につけることを目的とした「おもてなし親善大使育成塾」を開催した。  
おもてなし親善大使育成塾：参加者 152 名、任命者数 152 名（累計 1,488 名）
  - ② おもてなし親善大使の活動  
これまでに任命したおもてなし親善大使を対象に、外国人旅行者への観光案内などボランティア活動体験等に資する活動を行った。
  - ③ おもてなし親善大使の研修  
これまでに任命したおもてなし親善大使を対象に、観光案内の知識や語学等のスキルアップを図る研修や、都市に対する誇りや愛着の醸成につながる研修を実施した。
- (6) 多言語メニュー作成支援ウェブサイト（EAT 東京）の運営 <東京都受託事業>  
都内飲食店等における外国人旅行客の受入環境整備を図るため、多言語メニュー作成支援ウェブサイト「EAT 東京」を運営した。ヴィーガンなど食の多様性に対応したメニュー紹介ページを作成した。  
・サイト登録店舗数：7,619 店舗（令和 6 年 3 月末時点）  
・都内飲食店等対象の「EAT 東京」普及啓発セミナー開催実績 2 回 参加者数 25 名
- (7) 国内向け誘客促進プロモーション（新規）<東京都受託事業>  
東京の旅行先としての魅力を訴求し、都内における国内旅行者の増加を図るため、アニメツーリズム、アドベンチャーツーリズム等、旅行者の多様な関心・志向に対する 8 テーマを設定し、東京観光で出来る体験型観光等を訴求する記事広告を国内のトラベル誌等へ出稿した（日経ビジネス、DiscoverJapan、TOKYO GRAFFITI、STORY、旅の手帖等）。
- (8) 東京観光デジタルパンフレットギャラリーの管理運営  
東京の様々な観光パンフレットを、国内外の旅行者がウェブ上で閲覧できるウェブサイト「東京観光デジタルパンフレットギャラリー」を 5 言語・6 種類（日本語、英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、タイ語）で管理運営した。
- (9) 東京観光情報センター等の管理運営 <東京都受託事業>
- (ア) 東京観光情報センターの運営  
国内外からの旅行者等の多様なニーズに的確に対応できるよう、都内 5 箇所（東京都庁、羽田空港、京成上野、バスタ新宿、多摩）で東京観光情報センターを運営した。  
・来場者数 合計 1,433,304 人（うち、外国人 923,463 人/64.4%）  
・問合せ件数 合計 387,003 件（うち、外国人 301,637 件/77.9%）
- ① アクセシブルツーリズム  
障害者や高齢者等とのコミュニケーションサポートツールを東京観光情報センター全箇所に配備。バスタ新宿ではアクセシブルツーリズム専用カウンターを設置し、車いすとベビーカー貸出を通年実施するなど、「心のバリアフリー」認定施設として、より多くの旅行者が東京観光を楽しめる環境の整備を継続して実施した。

② オンライン観光案内

アバターを活用したビデオ通話によるオンライン観光案内を継続し、旅マエから旅ナカまで、国内外から手軽に旅の相談ができる機会を提供した。

- ・ 受信件数 合計 494 件（うち、外国人 427 件/86.4%）

③ 日報データベース

日報データベースに蓄積された情報を活用し、現場等で知識を共有できるよう機能拡張を行った。

④ 調査及び研修

東京観光情報センターの接遇力強化や知識向上を図るため、国内外の旅行者に対して満足度調査及び覆面調査を実施すると共に、調査結果を踏まえた研修を企画し実施した。

- ・ 接遇/インバウンド研修 11回/参加者 延べ115名
- ・ アクセシブルツーリズム研修（基礎編）1回/参加者 11名
- ・ アクセシブルツーリズム研修（応用編）1回/参加者 11名

⑤ 広報活動

東京観光情報センター等の認知度向上や利用者促進に向けた広告展開等のほか、多摩地域で各種イベントを実施した。

<街歩きモニターツアーの実施>

- ・ 1回目「アートの街“立川”を熟知した案内人達と巡る特別モニターツアー」  
実施日：11月5日/参加者：6名
- ・ 2回目「食材ハンターと行く東京産農産物の魅力発見モニターツアー」  
実施日：12月17日/参加者：11名
- ・ 3回目「空の街・立川を体感しよう！立飛エリアで街づくりやアートを学ぶ街歩きツアー」  
実施日：2月18日/参加者：13名

<センター多摩でワークショップ開催>

- ・ 1回目「タオルで紙すき体験！？自分だけの和紙の灯りを作ろう！」  
実施日：10月7日/参加者：30名
- ・ 2回目「多摩エリアのシンボル花や木をかたどる革アクセサリー作り体験」  
実施日：1月13日/参加者：30名

(イ) 全国観光PRコーナーの運営

国内外からの旅行者等の多様なニーズに的確に対応できるよう、東京都と全国の各自治体が連携して全国の観光情報等を発信する全国観光PRコーナーを運営し、各地域の観光パンフレットの配布や各自治体の実施するPRイベントの支援を行った。

- ・ 場所：東京都庁（都庁第一本庁舎 1階）
- ・ 来場者数：合計 247,093 人（うち、外国人 72,263 人/29.2%）
- ・ 問合せ件数：合計 9,453 件（うち、外国人 7,490 件/79.2%）
- ・ イベントコーナー利用件数：46 件

(ウ) イベント等における臨時観光案内所の管理運営

国内外からのイベント参加者に対して都内の観光情報をPRするため、以下のイベント等に臨時観光案内所を設置した。

- ・ Tokyo Tokyo Delicious Museum2023(シンボルプロムナード公園)  
令和5年5月19日～5月21日  
延べ来場者数：1,275人
- ・ 台湾フェスタ 2023 (代々木公園)  
令和5年7月29日～7月30日  
延べ来場者数：491人
- ・ 東京味わいフェスタ 2023 (丸の内仲通り)  
令和5年10月27日～10月29日  
延べ来場者数：924人
- ・ 多摩東京移管130周年記念イベント「超たまらん博」(JR立川駅北口サンサンロード)

令和5年10月28日～10月29日

延べ来場者数：1,977人

- ・第9回都立動物園アフリカフェア（多摩動物公園）

令和5年11月11日～11月12日

延べ来場者数：825人

(10) 広域的な観光案内拠点等の整備及び運営支援（一部新規）＜東京都受託・出捐金事業＞

(ア) 広域的な観光案内拠点等の整備支援＜東京都出捐金事業＞

都内における観光案内機能の向上を図るため、東京都が指定した東京観光案内窓口を運営する事業者を対象に、経費の補助を行った。

- ・観光案内窓口整備支援補助金
- ・補助額 補助対象経費の3分の2以内（区市町村は2分の1以内）
- ・補助限度額 3,000千円（区市町村は2,250千円）

(イ) 広域的な観光案内拠点等の運営支援＜東京都受託事業＞

都が指定した広域的な観光案内拠点（累計10箇所）及び都内全域の東京観光案内窓口（累計457箇所）に対して、研修会・連絡会の開催や広報用ウェブサイト、ポータルサイト運営等の支援を行った。また、国内外の旅行者に対し都内の観光情報を円滑に提供できるよう、ロゴマークの提供や希望する窓口へのモニター付きコールセンター通訳サービスタブレット端末の貸与、及び屋内型観光案内デジタルサイネージの設置等のほか、新たに以下サービス支援を行った。

① ニーズ調査（新規）

都内の観光案内機能の拡充を図るため、広域的な観光案内拠点等及び外国人旅行者を対象に、提供サービス等に対するニーズ調査を行った。

② 広域的な観光案内拠点等の情報発信力強化（新規）

国内外の旅行者への認知度向上を図るため、希望する広域的な観光案内拠点等を対象に、オンラインでの情報発信手法やデジタル技術等に知見のある専門家の派遣を行った。

- ・派遣回数：8件/8施設

(11) 「マラソン祭り」を通じた観光振興事業＜東京都受託事業＞

(ア) 東京マラソン応援ウェブ観光マップの制作

東京マラソンの開催に合わせて来訪した国内外の旅行者に東京の魅力を伝えるため、マラソンコース周辺の主な観光スポットや交通アクセス等を掲載したウェブサイトやスマートフォン対応のウェブマップの制作を行った。

(イ) 臨時観光案内所の設置運営

東京の観光情報を広く来場者にPRするため、東京マラソン EXPO 等の会場に臨時観光案内所を設置し、東京マラソン応援ウェブ観光マップの紹介や東京トラベルガイド等の配布を行った。

① 東京マラソン EXPO2024（東京ビッグサイト）

- ・実施日程：2024年2月29日（木）～3月2日（土）
- ・延べ来場者数：2,915名（内訳 日本人1,988人/外国人927人）

② ランナー応援イベント（東京駅 行幸通り）

- ・実施日程：2024年3月3日（日）
- ・延べ来場者数：3,678名（内訳 日本人2,514人/外国人1,164人）

## 6 広報・調査研究に関する事業

(1) 財団コーポレートサイトでの情報発信

財団の活動や東京の観光・コンベンション情報などを、賛助会員をはじめ、関係機関・団体、国内メディア等に広くPRするために、財団コーポレートサイトを活用して情報発信を行った。

## (2) 共同研究・アドバイザー会議の実施

(ア) 民間事業者等と東京の観光に関する課題について、調査・研究を行った。

### ① 株式会社 JTB 総合研究所：

『「A NET ZERO ROADMAP FOR TRAVEL AND TOURISM」から読み解く脱炭素に向けた具体的アクションの考察』

- World Travel & Tourism Council が、2021 年 11 月に公表したレポート「A NET ZERO ROADMAP FOR TRAVEL AND TOURISM」に記載されている観光産業と気候変動対応の現状や、宿泊・施設、旅行会社、航空、クルーズ、OTA 等、業種別の取組項目を踏まえ、今後国内の観光産業で必要となるアクションを考察した。

### ② 株式会社リクルート、台東区：「オーバーツーリズムに関する事例検証」

- オーバーツーリズムの定義や国内外の事例を整理し、その要因となる地域特性や住民のネガティブ感情のトリガーについて、各種統計調査等から仮説検証を行った。それらの結果を踏まえ、台東区浅草エリアにおける人流データ分析やアンケート調査等を通じて、混雑状況や地域住民への影響を具体的に検証し、今後起こり得る課題やその未然防止・抑制に資する対応策を取りまとめた。

### ③ タイムアウト東京：「ポストコロナにおける東京の魅せ方」

- パンデミックを経て変化した旅行者の意識を捉えた地域のブランディング、魅力発信を考察するため、世界的なシティガイドであるタイムアウトの編集者の視点から「ポストコロナにおける東京の魅せ方」を議論し、その内容を取りまとめた。今後の海外における東京のブランディングコンセプト、プロモーションやセールス方針等に活かしていく。

(イ) 上記調査結果の発信の場として、オンライン・カンファレンスを開催した。

開催日：令和 6 年 3 月 18 日 視聴者数：136 名

(ウ) 観光分野の有識者との意見交換

財団が推進する「持続可能な観光」に対する助言や、観光産業における今後の予測、世界的な傾向、新たなトレンドに関する意見交換を目的に、観光分野識者とのアドバイザー会議を 2 回実施した。

第 1 回：令和 5 年 6 月 9 日 第 2 回：令和 6 年 1 月 18 日

## (3) 「持続可能な観光」推進事業

- 財団と賛助会員が連携し、環境負荷の軽減、地域経済への貢献・地域社会との連携、文化・自然遺産の保護と活用等の活動を通じて、東京を持続可能な観光・ビジネスイベント開催都市とすることを目的として、「TCVB Sustainable Tourism Partnership」を創設した。  
(令和 5 年度参画パートナー：18 社・団体)
- パートナーシップの参画事業者を対象とした勉強会を 2 回開催した。  
第 1 回：令和 5 年 7 月 12 日 参加者：30 名  
第 2 回：令和 6 年 2 月 19 日 参加者：14 名
- 国際基準の制定・認定団体である Global Sustainable Tourism Council の公認研修をパートナーシップ向けに開催した。  
日程：令和 5 年 10 月 16～18 日 <1, 2 日目:座学、3 日目:フィールドワーク>  
フィールドワーク：浅草・蔵前エリア<浅草神社、KURAMAE モデル>  
参加者：15 名
- 「持続可能な観光」をより広く都内事業者と連携して推進するため、勉強会を 1 回開催した。  
令和 5 年 12 月 18 日 参加者：28 名
- 都内 6 つの観光協会・区と、観光客分析に特化した人流モニタリングツール「おでかけウォッチャー」を共同運営。財団コーポレートサイト上で「TCVB 人流モニタリングレポート」を発行（4 回）。

## 7 その他事業

### (1) 大阪観光局との連携

令和 3 年 12 月に締結した「包括連携に関する協定書」に基づき、情報交換などを実施した。

(2) 後援

地域の観光協会等が主催する観光イベントや行事等 25 件に対し、東京観光財団の後援名義を付して協力した。

- 第 96 回東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2023
- SCAJ2023  
(ワールドスペシャリティコーヒーカンファレンスアンドエキシビション 2023)
- アマチュア無線フェスティバル ハムフェア 2023
- 第 39 回文京あじさいまつり
- 第 35 回新宿御苑森の薪能
- 第 5 回「秋川“四季の奏で”音楽会」「秋川クリーンアップ活動」
- 東京ビジネスチャンス EXPO
- 町田時代祭り 2023
- 東京国際プロジェクトマッピングアワード VOL. 8
- 第 97 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2024
- 第 45 回文京菊まつり
- 東京マラソン 2024
- Sustainable Event Professional Forum 2024
- 第 67 回文京梅まつり
- タマリズムコンテスト
- 東京ラーメンフェスタ 2023
- 第 61 回文京区観光写真コンクール
- 高田馬場・早稲田ラーメンラリー2023
- インバウンドサミット 2023
- 第 22 回ドリーム夜さ来い祭り
- 東京タワー文化フェスティバル VII
- 都民の観光振興への理解促進のための観光シンポジウム
- ラ・フォルネ・ジェルネ TOKYO 2023
- 第 52 回文京さくらまつり
- 島じまん 2023

(3) 委員会への参加

財団役員等が観光関連団体等への委員等に就任し、活動に参画した。

- 観光立国推進協議会
- 公益社団法人日本観光振興協会
- 公益社団法人日本観光振興協会関東支部評議員会
- 一般社団法人日本経営協会
- 東京外かく環状道路（関越道～湾岸道路）整備促進連絡会議
- ヘブンアーティスト運営実行委員会
- 公益財団法人東京都公園協会評議員会
- 一般社団法人墨田区観光協会理事会
- 一般財団法人東京マラソン財団理事会
- 一般社団法人日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー理事会
- 多摩観光推進協議会幹事会
- 公益財団法人東京都中小企業振興公社理事会
- ツーリズム EXPO ジャパン実行委員会

## II 収益事業

### 1 旅券交付に伴う東京都手数料徴収及び収入印紙販売事業

都内4箇所（新宿、有楽町、池袋、立川）と島しょ地域（9町村）において、東京都手数料徴収業務を実施した。また、新宿旅券課内において収入印紙類の販売を行った。

東京都手数料徴収及び収入印紙販売件数 720,209件

### 2 テキスト販売事業

東京シティガイド検定の公式テキスト「江戸東京まち歩きブック」を改訂し、販売した。

### 3 物販等販売事業

訪都旅行者の利便性向上のため、東京観光情報センター都庁内にてTokyoTokyoグッズを中心とした物品販売に加え、東京サブウェイチケットの販売を開始するとともに、財団専用オンラインチケットサイトでの交通チケット販売を行った。

## III その他事業（相互扶助等事業）

### 1 賛助会員に関する事業

#### (1) TCVB ミーティングの開催

東京の観光に関わる様々なトピックを扱うTCVBミーティングを、合計10回開催した。最新の観光関連トピックも柔軟に取り入れ、賛助会員の様々な関心分野に対応した。

※以下の注記、記載のないものはオンライン開催

第1回：～持続可能なMICE開催に向けて～ 東京におけるMICE誘致・開催に関する支援制度のご案内（開催日：令和5年6月27日、参加者・視聴者数：65名）

第2回：ものづくり・伝統芸能を海外に発信するためのノウハウ・誘客に向けた取り組み※リアル開催（開催日：令和5年8月1日、参加者数：32名）

第3回：誰もが快適に観光できる東京へ！～心のバリアフリーについて学ぶ～（開催日：令和5年11月6日、参加者・視聴者数：40名）

第4回：「新しい観光案内のカタチ」

※リアル開催

（開催日：令和5年11月29日、参加者数：28名）

第5回：海外見本市・クライアントイベントの活用について～IMEX Americaの経験談を踏まえて～（開催日：令和5年12月19日、参加者・視聴者数：68名）

第6回：IGLTA（LGBTQ+旅行協会）の総会誘致を契機としたLGBTQ+市場へのアプローチ～DEI（Diversity, Equity, Inclusion）の視点を踏まえた誘致・受入れの心構え～※リアル開催（開催日：令和6年1月12日、参加者数：31名）

第7回：地域を訪れる人と進める観光まちづくりの最新事情※

リアル+オンライン開催（開催日：令和6年1月25日、参加者・視聴者数：75名）

第8回：世界が注目！伝統と革新が織りなす“高付加価値”のニューウェーブ※

リアル開催（開催日：令和6年2月5日、参加者数：24名）

第9回：映画・ドラマ撮影の受け入れが企業にもたらす効果について

（開催日：令和6年2月20日、参加者・視聴者数：77名）

第10回：「世界の食の潮流 フードダイバーシティ～世界から選ばれ続けるTOKYOであるために」（開催日：令和6年3月13日、参加者数・視聴者数：55名）

#### (2) 会員情報交換会の開催

財団の賛助会員である観光関連事業者等の交流を目的とした情報交換会（賛助会員交流会）を開催した。

- ・開催日：令和5年12月13日
- ・参加者数：160名
- ・講演会と交流会  
講演者：武田憲人氏（「散歩の達人」統括編集長）  
マライ・メントライン氏（通訳・翻訳家）  
テーマ：「散歩の達人」を作ること ～売れた街、売れなかった街。マニアックな街の楽しみ方とネタのを見つけ方～

(3) ビジネス交流会・商談会並びに会員施設視察交流会等の開催

賛助会員同士のネットワーキングやビジネス拡大の場としての交流会等のイベントを以下のとおり開催した。

(ア) 賛助会員同士のマッチング機会を創出しビジネス拡大の場としての交流会を開催した。

- ・第1回：生成AI研究会①  
（講演、賛助会員によるプレゼンおよび情報交換）  
テーマ：共に考え、共に創る。生成AI活用で新しい観光サービスを創出  
開催日：令和5年9月26日、参加社数：22社、参加者数：30名
- ・第2回：生成AI研究会②  
（講演、賛助会員によるプレゼンおよび情報交換）  
テーマ：共に考え、共に創る。生成AI活用で新しい観光サービスを創出  
開催日：令和6年3月6日、参加社数：13社、参加者数：21名

(イ) 賛助会員の施設視察会を賛助会員同士の交流会と合わせ開催した。

- ・第1回：東急歌舞伎町タワー  
開催日：令和5年5月10日、参加社数：24社、参加者数：33名
- ・第2回：GREEN SPRINGS  
開催日：令和5年9月11日、参加社数：11社、参加者数：12名
- ・第3回：豊洲千客万来  
開催日：令和6年1月26日、参加社数：18社、参加者数：32名

(4) サステナビリティ活動の実施

東京の観光振興を推進する団体として東京の観光に資するサステナビリティ活動を、築地食のまちづくり協議会（賛助会員）と合同で年2回実施した。

- ・テーマ：築地場外市場を正しく理解して楽しむ、レスポンシブルツーリズム
- ・実施日：①令和5年11月21日、②令和6年2月6日
- ・参加者（賛助会員や全国通訳案内士等）：①19名、②18名

(5) TCVB 賛助会員向けニュース速報の配信

財団の活動や、東京都等の観光に関わる行政情報、都内の地域・施設・イベントなどの旬なニュースやトピックスを収集し、賛助会員等に週1回メール配信した。

- ・配信回数：50回

(6) TCVB レポートでの情報発信

財団の活動を定期的に取りまとめ、賛助会員に対して年28回の情報発信を行った。